

### Ⅲ 参考資料

#### 2 20～64 歳の死亡の状況



## 2 20～64歳の死亡の状況

沖縄県は、働き盛り世代の健康状況が大きな課題となっています。20～64歳の年齢調整死亡率は低下傾向にありますが、沖縄県男性では1990年、女性は2005年に全国を上回り、全国との差は拡大傾向にあります（図1）。また、1980年に女性1位、男性21位であった全国順位は、2020年には女性45位、男性46位と大きく順位を下げています（図2）

こうした現状を踏まえ、沖縄県健康増進計画「健康おきなわ21（第3次）」（令和6年3月策定）では、全体目標の一つに「20～64歳の年齢調整死亡率（全死因）の全国1位の都道府県との差の縮小」を設定し、目標達成に向けて取り組むこととしています。

本資料では、「健康おきなわ21（第3次）」の推進の基礎資料とするため、20～64歳の死亡の状況について集計し、図表に示しました。

図1 20～64歳の年齢調整死亡率-1980年～2020年-

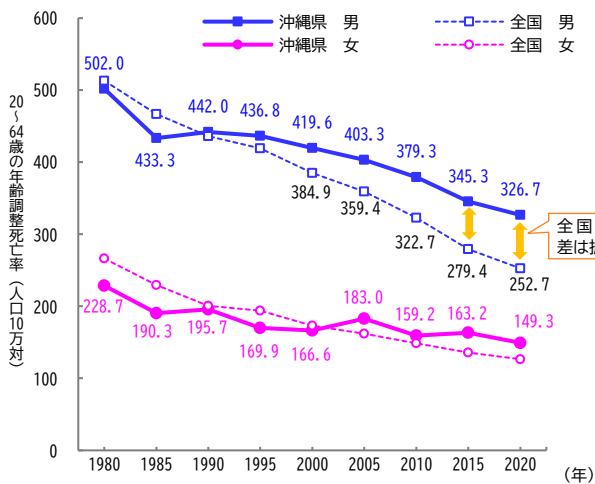
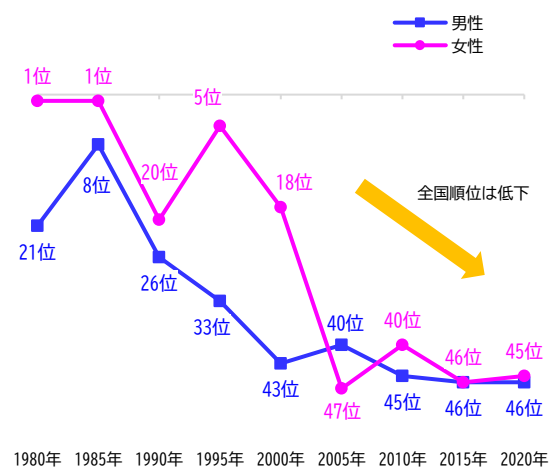


図2 沖縄県の20-64歳の年齢調整死亡率の全国順位



### <参考> 健康おきなわ21（第3次）の全体目標

目標項目	指標	ベースライン	目標値		
			前期 (R10)	後期 (R14)	
平均寿命の延伸	平均寿命（0歳の平均余命）	男性	80.73 (R2)	81.75 (R7)	82.76 (R12)
		女性	87.88 (R2)	88.53 (R7)	89.19 (R12)
健康寿命の延伸	日常生活に制限のない期間の平均	男性	72.11 (R1)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
		女性	75.51 (R1)		
早世の予防	20～64歳の年齢調整死亡率（全死因）の全国1位の都道府県との差	男性	125.0 (R2)	差の縮小	差の縮小
		女性	45.8 (R2)		
健康寿命の地域格差の縮小	平均自立期間の上位1/3市町村の平均と下位1/3市町村の平均の差	男性	1.82 (R3)	差の縮小	差の縮小
		女性	4.44 (R3)		

### 【集計方法】

- (1) 粗死亡率及び年齢調整死亡率については 235 ページに記載した。年齢調整死亡率の基準人口は「平成 27 年モデル人口」を使用した。
- (2) 標準化死亡比（SMR）及び過剰死亡数については 15～16 ページに記載した。基準集団は全国として、以下の式で計算した。

$$SMR = \frac{\text{都道府県の 5 年間（死因別）死亡数}}{\sum(\text{都道府県の 5 年間年齢階級別人口} \times \text{全国の 5 年間年齢階級別（死因別）死亡率})} \times 100$$

$$\text{過剰死亡数} = \text{都道府県の 5 年間（死因別）死亡数} \times \frac{SMR - 100}{SMR}$$

- (3) 沖縄県及び全国の死亡数、粗死亡率、年齢調整死亡率の算出に使用した人口および死亡数については 237 ページに記載した。

2020 年～2024 年の都道府県別にみた 20～64 歳の年齢調整死亡率、年齢（5 歳階級別）死亡率、死因別標準化死亡比（SMR）等の算出には、下記の資料を用いた。

- ・令和 2 年国勢調査に関する不詳補完結果（参考表）
- ・人口推計 都道府県、年齢（5 歳階級）、男女別、日本人人口（各年 10 月 1 日現在）（2021 年～2024 年）
- ・人口動態統計調査 中巻 死亡 第 3 表 死亡数，都道府県（特別区－指定都市再掲）・年齢（5 歳階級）・性別（2020 年～2024 年）
- ・人口動態調査 保管統計表 都道府県編 死亡・死因（死因簡単分類） 第 2 表 死亡数，都道府県（特別区－指定都市再掲）・死亡月・死因（死因簡単分類）・性・年齢（5 歳階級）別（2020 年～2024 年）

### 【参考資料】

- (1) 沖縄県健康増進計画 健康おきなわ 21（第 3 次） 沖縄県保健医療介護部健康長寿課 令和 6 年 3 月 <http://www.kenko-okinawa21.jp/090-docs/2024041000018/>
- (2) 国立保健医療科学院 「平成 20～24 年 保健所・市町村別死因別標準化死亡比（SMR）と死亡数・過剰死亡数の見える化ツール」  
<https://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/datakatsuyou/data/h20-24-smr-mieruka.xlsx>
- (3) 静岡県健康福祉部健康局健康政策課「静岡県市町村別健康指標」  
<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/kenkozukuri/kenkochosa/1024905.html>

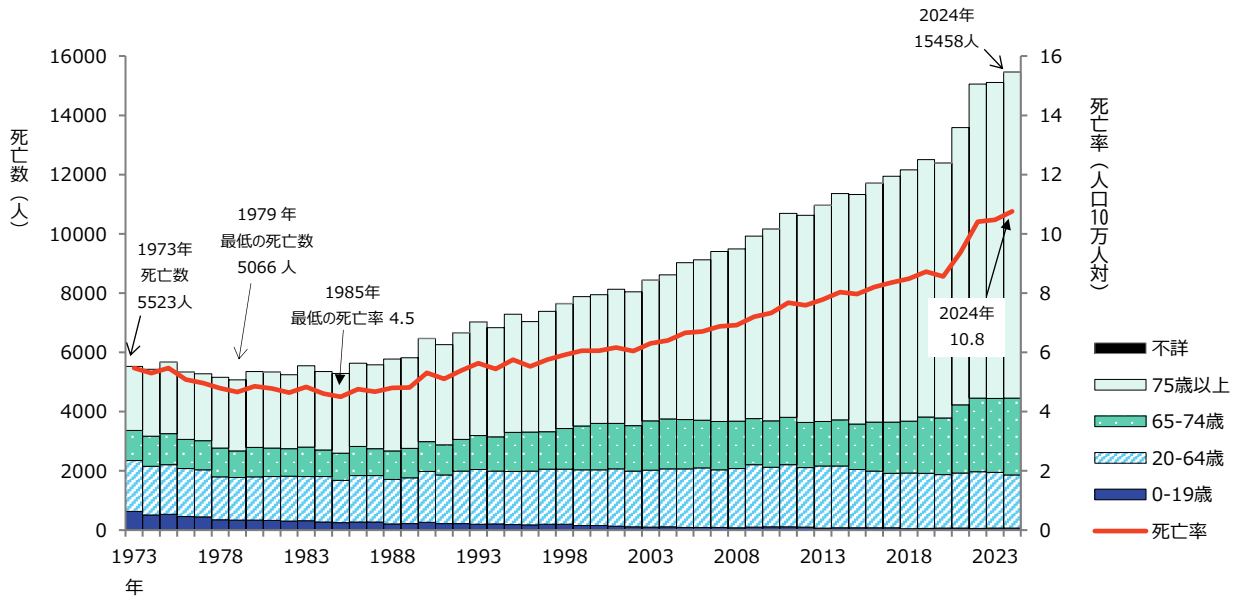
### (1) 死亡数・粗死亡率の推移

2024年の死亡数は1万5458人で、前年の1万5110人より348人増加している。死亡数の年次推移をみると、1990年代より増加傾向となり、2010年に1万人を超え、以降も増加傾向が続いている。

75歳以上の高齢者の死亡数は、1990年代から増加しており、2022年に1万人を超え、全死亡数の7割となった。

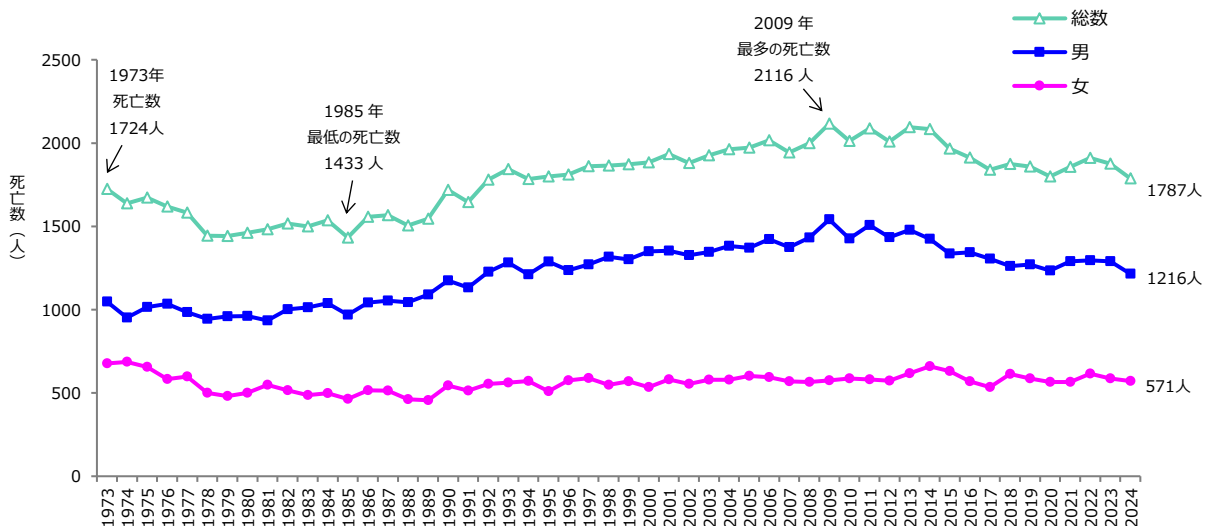
65～74歳の死亡数は、2010年代後半から増加しており、2021年には2,000人を超えた。(図1)

図1 死亡数及び死亡率の推移 -1973年～2024年 - 沖縄県 -



2024年の20～64歳の死亡数は1,787人で、性別にみると、男性の死亡数は1,216人、女性571人で、男性の死亡数は女性の約2倍となっている。死亡数の年次推移をみると、1980年代後半から2000年代にかけて増加傾向となり、2009年には最多の死亡数の2,116人となった。2009年～2014年まで2000人台で推移した後は、減少傾向にある。(図2)

図2 性別にみた20～64歳の死亡数の推移 -1973年～2024年 - 沖縄県 -



2024年の20～64歳の死亡率（人口10万対）は、沖縄県の男性312.6、女性147.5、全国の男性249.5、女性130.3である。死亡率の年次推移をみると、沖縄県は男女ともに1970年代後半から全国を下回って推移していたが、男性では2000年以降、女性では2013年以降、全国を上回って推移している。（図3）

2024年の20～64歳の年齢調整死亡率（人口10万対）は、沖縄県の男性324.2、女性152.7、全国の男性254.9、女性129.7である。沖縄県は男女ともに全国より高く、男性では全国の1.3倍、女性では全国の1.2倍となっている。年齢調整死亡率の年次推移をみると、男女ともに減少傾向にあるが、男性では1990年代以降、女性では2000年代から全国を上回って推移している。（図4）

図3 性別にみた20～64歳の死亡率の推移 -1973年～2024年 - 沖縄県・全国 -

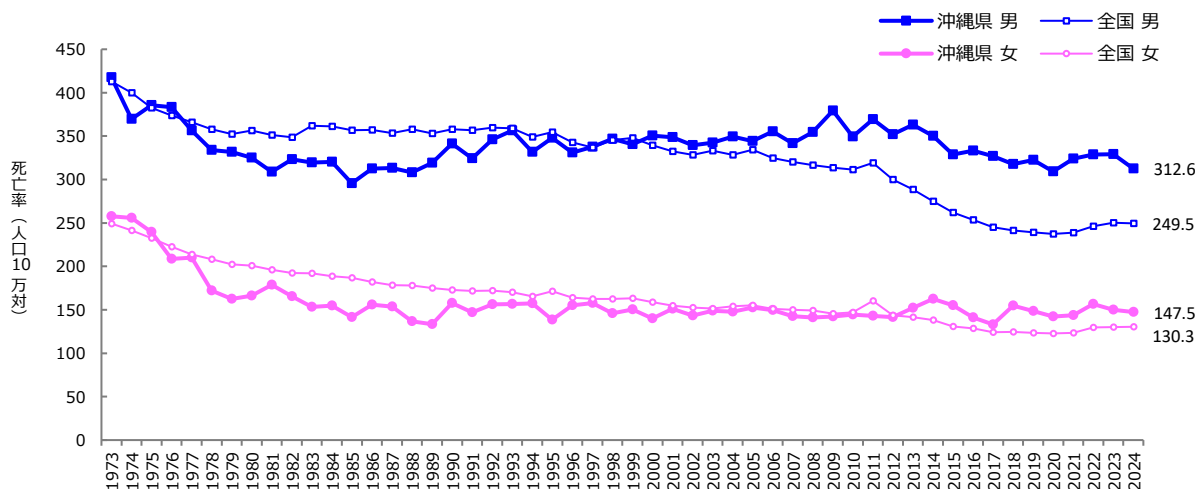
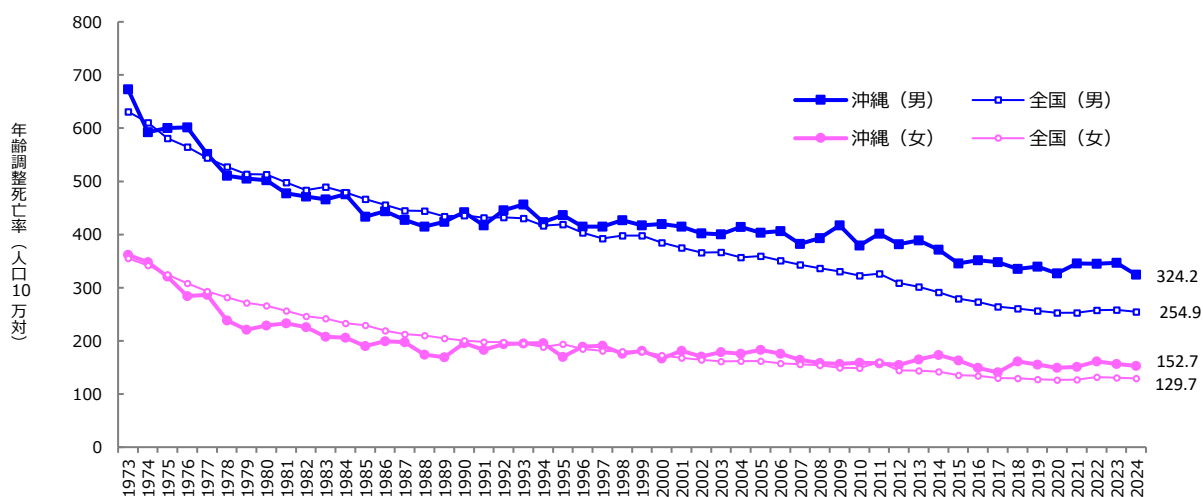


図4 性別にみた20～64歳の年齢調整死亡率の推移 -1973年～2024年 - 沖縄県・全国 -



## (2) 死因

### ① 20～64歳の死因順位 - 2024年 -

沖縄県の2024年の20～64歳の死亡数を死因順位別にみると、第1位は悪性新生物で583人（死亡総数の32.6%）、第2位は心疾患（高血圧性を除く）で231人（12.9%）、第3位は肝疾患で172人（9.6%）、第4位は自殺162人（9.1%）、第5位は脳血管疾患127人（7.1%）である。生活習慣病である悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、糖尿病で全体の53.9%を占めている。（図5）

図5 20～64歳の主な死因の構成割合（死因順位10位まで） - 2024年，沖縄県・全国 -

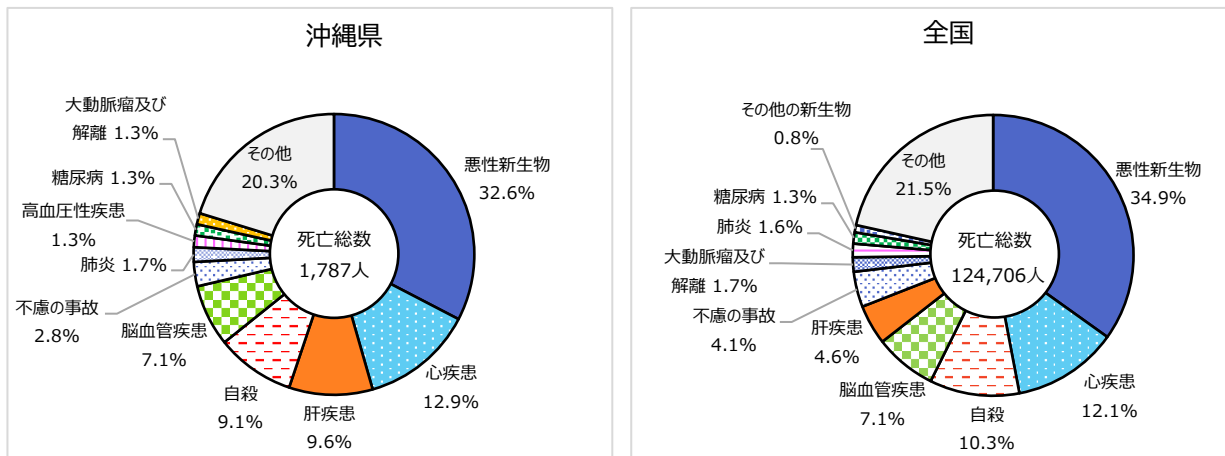


表2 性別にみた20～64歳の死因順位（第10位まで）別死亡数・死亡率・構成割合 - 2024年，沖縄県・全国 -

沖縄県					全国									
総数					男					女				
死因順位	死因	死亡数	死亡率	割合	死因順位	死因	死亡数	死亡率	割合	死因順位	死因	死亡数	死亡率	割合
-	全死因	1,787	230.3	100.0	-	全死因	1,216	312.6	100.0	-	全死因	571	147.5	100.0
1	悪性新生物	583	75.1	32.6	1	悪性新生物	317	81.5	26.1	1	悪性新生物	266	68.7	46.6
2	心疾患	231	29.8	12.9	2	心疾患	177	45.5	14.6	2	心疾患	54	14.0	9.5
3	肝疾患	172	22.2	9.6	3	肝疾患	138	35.5	11.3	3	脳血管疾患	43	11.1	7.5
4	自殺	162	20.9	9.1	4	自殺	126	32.4	10.4	4	自殺	36	9.3	6.3
5	脳血管疾患	127	16.4	7.1	5	脳血管疾患	84	21.6	6.9	5	肝疾患	34	8.8	6.0
6	不慮の事故	50	6.4	2.8	6	不慮の事故	36	9.3	3.0	6	不慮の事故	14	3.6	2.5
7	肺炎	30	3.9	1.7	7	糖尿病	20	5.1	1.6	7	肺炎	11	2.8	1.9
8	高血圧性疾患	24	3.1	1.3	8	高血圧性疾患	19	4.9	1.6	8	筋骨格系及び結合組織の疾患	7	1.8	1.2
9	糖尿病	23	3.0	1.3	8	大動脈瘤及び解離	19	4.9	1.6	9	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	5	1.3	0.9
9	大動脈瘤及び解離	23	3.0	1.3	8	肺炎	19	4.9	1.6	9	高血圧性疾患	5	1.3	0.9
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	間質性肺疾患	5	1.3	0.9
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	腎不全	5	1.3	0.9

全国														
総数					男					女				
死因順位	死因	死亡数	死亡率	割合	死因順位	死因	死亡数	死亡率	割合	死因順位	死因	死亡数	死亡率	割合
-	全死因	124,706	190.7	100.0	-	全死因	82,698	249.5	100.0	-	全死因	42,008	130.3	100.0
1	悪性新生物	43,486	66.5	34.9	1	悪性新生物	22,805	68.8	27.6	1	悪性新生物	20,681	64.2	49.2
2	心疾患	15,125	23.1	12.1	2	心疾患	12,082	36.4	14.6	2	自殺	3,850	11.9	9.2
3	自殺	12,896	19.7	10.3	3	自殺	9,046	27.3	10.9	3	心疾患	3,043	9.4	7.2
4	脳血管疾患	8,889	13.6	7.1	4	脳血管疾患	6,297	19.0	7.6	4	脳血管疾患	2,592	8.0	6.2
5	肝疾患	5,720	8.7	4.6	5	肝疾患	4,465	13.5	5.4	5	不慮の事故	1,260	3.9	3.0
6	不慮の事故	5,081	7.8	4.1	6	不慮の事故	3,821	11.5	4.6	6	肝疾患	1,255	3.9	3.0
7	大動脈瘤及び解離	2,067	3.2	1.7	7	大動脈瘤及び解離	1,662	5.0	2.0	7	肺炎	503	1.6	1.2
8	肺炎	1,937	3.0	1.6	8	肺炎	1,434	4.3	1.7	8	その他の新生物	408	1.3	1.0
9	糖尿病	1,623	2.5	1.3	9	糖尿病	1,273	3.8	1.5	9	大動脈瘤及び解離	405	1.3	1.0
10	その他の新生物	1,032	1.6	0.8	10	腎不全	755	2.3	0.9	10	糖尿病	350	1.1	0.8

注： 1) 死因順位は、分類表「死因順位及び乳児死因順位に用いる分類項目（令和6年）」を用いた。  
 2) 死因順位は死亡数の多いものから定めた。死亡数が同数の場合は分類番号の若い順から記載した。  
 3) 死亡率は人口10万対。  
 4) 死因名は次のように省略した。「心疾患」←「心疾患(高血圧性を除く)」

② 年齢別死因 - 2024年-

性・年齢（5歳階級）別に主な死因の構成割合をみると、男性では15～39歳では自殺、40～49歳では肝疾患、50～89歳では悪性新生物が多く、女性では15～29歳では自殺、30～89歳では悪性新生物が多くなっている。また、悪性新生物のピークは、男性では60～69歳、女性では55～59歳となっている。（図6）

年齢階級別にみた沖縄県の死因順位（第3位まで）については表3-1、全国の死因順位（第3位まで）については表3-2に示す。

図6 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合 - 2024年，沖縄県 -

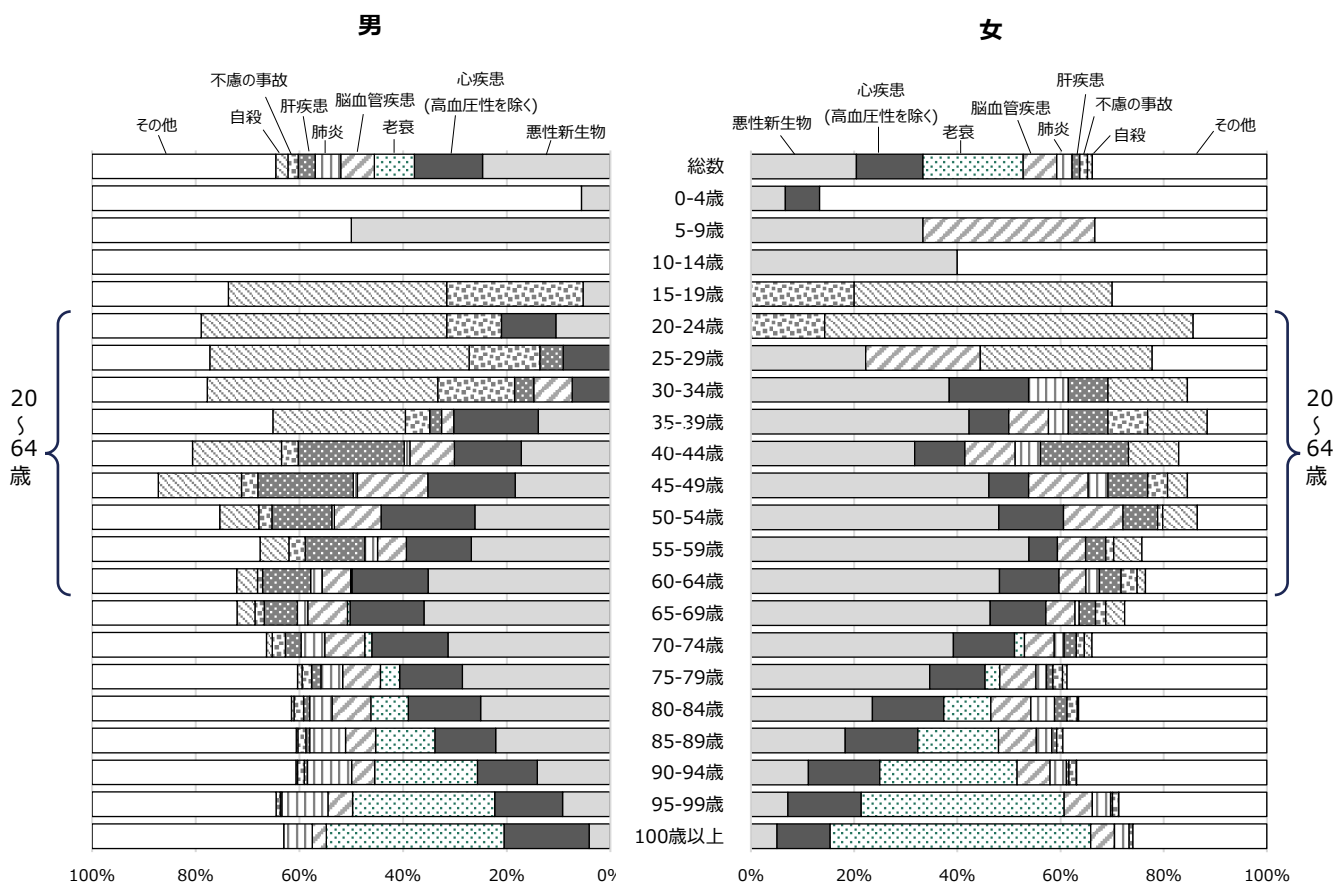


表 3-1 死因順位（第3位まで）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）及び構成割合 -2024年，沖縄県-

性	年齢階級	死亡総数		第1位			第2位			第3位					
		死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	割合	死因	死亡数	死亡率	割合	死因	死亡数	死亡率	割合
総数	20-24歳	26	38.2	自殺	14	20.6	53.8	不慮の事故	3	4.4	11.5	悪性新生物	2	2.9	7.7
												心疾患	2	2.9	7.7
	25-29歳	31	44.9	自殺	14	20.3	45.2	不慮の事故	3	4.3	9.7	悪性新生物	2	2.9	6.5
												心疾患	2	2.9	6.5
												脳血管疾患	2	2.9	6.5
	30-34歳	40	52.6	自殺	14	18.4	35.0	悪性新生物	5	6.6	12.5	心疾患	4	5.3	10.0
												不慮の事故	4	5.3	10.0
	35-39歳	69	79.3	悪性新生物	17	19.5	24.6	自殺	14	16.1	20.3	心疾患	9	10.3	13.0
	40-44歳	134	142.6	悪性新生物	29	30.9	21.6	肝疾患	26	27.7	19.4	自殺	20	21.3	14.9
	45-49歳	177	175.2	悪性新生物	47	46.5	26.6	肝疾患	27	26.7	15.3	心疾患	25	24.8	14.1
	50-54歳	303	291.3	悪性新生物	102	98.1	33.7	心疾患	49	47.1	16.2	脳血管疾患	30	28.8	9.9
												肝疾患	30	28.8	9.9
	55-59歳	415	461.1	悪性新生物	146	162.2	35.2	心疾患	43	47.8	10.4	肝疾患	38	42.2	9.2
	60-64歳	592	680.5	悪性新生物	233	267.8	39.4	心疾患	81	93.1	13.7	肝疾患	45	51.7	7.6
65-69歳	973	1081.1	悪性新生物	376	417.8	38.6	心疾患	130	144.4	13.4	脳血管疾患	69	76.7	7.1	
70-74歳	1620	1760.9	悪性新生物	545	592.4	33.6	心疾患	224	243.5	13.8	脳血管疾患	116	126.1	7.2	
75-79歳	1554	2590.0	悪性新生物	473	788.3	30.4	心疾患	182	303.3	11.7	脳血管疾患	112	186.7	7.2	
80-84歳	2007	4270.2	悪性新生物	490	1042.6	24.4	心疾患	279	593.6	13.9	老衰	161	342.6	8.0	
85歳以上	9449	14764.1	老衰	1951	3048.4	20.6	悪性新生物	1524	2381.3	16.1	心疾患	1248	1950.0	13.2	
男	20-24歳	19	54.3	自殺	9	25.7	47.4	悪性新生物	2	5.7	10.5	-	-	-	-
												-	-	-	-
												-	-	-	-
												-	-	-	-
	25-29歳	22	62.9	自殺	11	31.4	50.0	不慮の事故	3	8.6	13.6	心疾患	2	5.7	9.1
	30-34歳	27	73.0	自殺	12	32.4	44.4	不慮の事故	4	10.8	14.8	心疾患	2	5.4	7.4
												脳血管疾患	2	5.4	7.4
	35-39歳	43	100.0	自殺	11	25.6	25.6	心疾患	7	16.3	16.3	悪性新生物	6	14.0	14.0
	40-44歳	93	197.9	肝疾患	19	40.4	20.4	悪性新生物	16	34.0	17.2				
												自殺	16	34.0	17.2
	45-49歳	125	245.1	悪性新生物	23	45.1	18.4					心疾患	21	41.2	16.8
												肝疾患	23	45.1	18.4
	50-54歳	199	375.5	悪性新生物	52	98.1	26.1	心疾患	36	67.9	18.1	肝疾患	23	43.4	11.6
	55-59歳	287	637.8	悪性新生物	77	171.1	26.8	心疾患	36	80.0	12.5	肝疾患	33	73.3	11.5
60-64歳	401	911.4	悪性新生物	141	320.5	35.2	心疾患	59	134.1	14.7	肝疾患	37	84.1	9.2	
65-69歳	723	1643.2	悪性新生物	260	590.9	36.0	心疾患	103	234.1	14.2	脳血管疾患	55	125.0	7.6	
70-74歳	1154	2564.4	悪性新生物	362	804.4	31.4	心疾患	169	375.6	14.6	脳血管疾患	89	197.8	7.7	
75-79歳	1069	3817.9	悪性新生物	305	1089.3	28.5	心疾患	130	464.3	12.2	脳血管疾患	78	278.6	7.3	
80-84歳	1183	5915.0	悪性新生物	296	1480.0	25.0	心疾患	165	825.0	13.9	脳血管疾患	88	440.0	7.4	
85歳以上	4073	18513.6	悪性新生物	793	3604.5	19.5	老衰	577	2622.7	14.2	心疾患	511	2322.7	12.5	
女	20-24歳	7	21.2	自殺	5	15.2	71.4	-	-	-	-	-	-	-	
	25-29歳	9	26.5	自殺	3	8.8	33.3	悪性新生物	2	5.9	22.2	-	-	-	-
												-	-	-	-
												-	-	-	-
	30-34歳	13	34.2	悪性新生物	5	13.2	38.5	心疾患	2	5.3	15.4	-	-	-	-
												-	-	-	-
	35-39歳	26	59.1	悪性新生物	11	25.0	42.3	自殺	2	5.3	15.4	-	-	-	-
												心疾患	2	4.5	7.7
												脳血管疾患	2	4.5	7.7
												肝疾患	2	4.5	7.7
												不慮の事故	2	4.5	7.7
	40-44歳	41	87.2	悪性新生物	13	27.7	31.7	肝疾患	7	14.9	17.1	心疾患	4	8.5	9.8
												脳血管疾患	4	8.5	9.8
												自殺	4	8.5	9.8
45-49歳	52	104.0	悪性新生物	24	48.0	46.2	脳血管疾患	6	12.0	11.5	心疾患	4	8.0	7.7	
											肝疾患	4	8.0	7.7	
50-54歳	104	200.0	悪性新生物	50	96.2	48.1	心疾患	13	25.0	12.5	脳血管疾患	12	23.1	11.5	
55-59歳	128	284.4	悪性新生物	69	153.3	53.9	心疾患	7	15.6	5.5					
											脳血管疾患	7	15.6	5.5	
											自殺	7	15.6	5.5	
60-64歳	191	434.1	悪性新生物	92	209.1	48.2	心疾患	22	50.0	11.5	脳血管疾患	10	22.7	5.2	
65-69歳	250	555.6	悪性新生物	116	257.8	46.4	心疾患	27	60.0	10.8	脳血管疾患	14	31.1	5.6	
70-74歳	466	991.5	悪性新生物	183	389.4	39.3	心疾患	55	117.0	11.8	脳血管疾患	27	57.4	5.8	
75-79歳	485	1515.6	悪性新生物	168	525.0	34.6	心疾患	52	162.5	10.7	脳血管疾患	34	106.3	7.0	
80-84歳	824	3051.9	悪性新生物	194	718.5	23.5	心疾患	114	422.2	13.8	老衰	75	277.8	9.1	
85歳以上	5376	12502.3	老衰	1374	3195.3	25.6	心疾患	737	1714.0	13.7	悪性新生物	731	1700.0	13.6	

注： 1) 死因順位は、分類表「死因順位及び乳児死因順位に用いる分類項目（令和6年）」を用いた。  
 2) 死因順位は死亡数の多いものから定めた。死亡数が同数の場合は、同一順位に死因名を列記し、次位を空欄とした。  
 3) 死因名は次のように省略した。「心疾患」←「心疾患(高血圧性を除く)」  
 4) 死亡数が1の場合は、「-」で表示した。

表 3-2 死因順位（第3位まで）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）及び構成割合 -2024年，全国-

性	年齢階級	死亡総数		第1位				第2位				第3位			
		死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	割合	死因	死亡数	死亡率	割合	死因	死亡数	死亡率	割合
総数	20-24歳	2170	38.1	自殺	1219	21.4	56.2	不慮の事故	242	4.3	11.2	悪性新生物	158	2.8	7.3
	25-29歳	2299	38.9	自殺	1127	19.1	49.0	不慮の事故	248	4.2	10.8	悪性新生物	223	3.8	9.7
	30-34歳	2765	46.6	自殺	1121	18.9	40.5	悪性新生物	428	7.2	15.5	心疾患	213	3.6	7.7
	35-39歳	4237	64.8	自殺	1212	18.5	28.6	悪性新生物	902	13.8	21.3	心疾患	374	5.7	8.8
	40-44歳	6835	92.8	悪性新生物	1768	24.0	25.9	自殺	1407	19.1	20.6	心疾患	690	9.4	10.1
	45-49歳	12401	145.2	悪性新生物	3913	45.8	31.6	自殺	1721	20.1	13.9	心疾患	1434	16.8	11.6
	50-54歳	22134	230.4	悪性新生物	7700	80.1	34.8	心疾患	2823	29.4	12.8	自殺	1985	20.7	9.0
	55-59歳	29979	359.5	悪性新生物	11330	135.9	37.8	心疾患	3980	47.7	13.3	脳血管疾患	2207	26.5	7.4
	60-64歳	41886	561.6	悪性新生物	17064	228.8	40.7	心疾患	5432	72.8	13.0	脳血管疾患	2745	36.8	6.6
	65-69歳	65458	910.2	悪性新生物	27566	383.3	42.1	心疾患	8034	111.7	12.3	脳血管疾患	4093	56.9	6.3
	70-74歳	125681	1543.4	悪性新生物	50545	620.7	40.2	心疾患	15138	185.9	12.0	脳血管疾患	8067	99.1	6.4
	75-79歳	187802	2393.6	悪性新生物	67336	858.2	35.9	心疾患	23033	293.6	12.3	脳血管疾患	12402	158.1	6.6
	80-84歳	263926	4318.3	悪性新生物	73569	1203.7	27.9	心疾患	35058	573.6	13.3	老衰	18272	299.0	6.9
85歳以上	1097257	16295.2	老衰	199168	2957.8	18.2	悪性新生物	194810	2893.1	17.8	心疾患	164888	2448.7	15.0	
男	20-24歳	1376	47.1	自殺	760	26.0	55.2	不慮の事故	170	5.8	12.4	悪性新生物	98	3.4	7.1
	25-29歳	1422	47.2	自殺	705	23.4	49.6	不慮の事故	178	5.9	12.5	悪性新生物	119	4.0	8.4
	30-34歳	1808	59.7	自殺	793	26.2	43.9	悪性新生物	185	6.1	10.2	心疾患	157	5.2	8.7
	35-39歳	2696	80.9	自殺	874	26.2	32.4	悪性新生物	359	10.8	13.3	心疾患	280	8.4	10.4
	40-44歳	4388	117.1	自殺	1049	28.0	23.9	悪性新生物	719	19.2	16.4	心疾患	524	14.0	11.9
	45-49歳	7846	180.7	悪性新生物	1651	38.0	21.0	自殺	1257	28.9	16.0	心疾患	1156	26.6	14.7
	50-54歳	14180	291.2	悪性新生物	3605	74.0	25.4	心疾患	2245	46.1	15.8	自殺	1397	28.7	9.9
	55-59歳	20095	479.4	悪性新生物	5951	142.0	29.6	心疾患	3198	76.3	15.9	脳血管疾患	1569	37.4	7.8
	60-64歳	28887	779.2	悪性新生物	10118	272.9	35.0	心疾患	4401	118.7	15.2	脳血管疾患	2012	54.3	7.0
	65-69歳	45701	1302.9	悪性新生物	17630	502.6	38.6	心疾患	6243	178.0	13.7	脳血管疾患	2958	84.3	6.5
	70-74歳	86210	2240.4	悪性新生物	33280	864.9	38.6	心疾患	10965	285.0	12.7	脳血管疾患	5582	145.1	6.5
	75-79歳	122696	3457.9	悪性新生物	43676	1230.9	35.6	心疾患	15019	423.3	12.2	脳血管疾患	7909	222.9	6.4
	80-84歳	155443	6112.0	悪性新生物	44970	1768.2	28.9	心疾患	19950	784.4	12.8	脳血管疾患	9831	386.6	6.3
85歳以上	479909	22037.1	悪性新生物	104192	4784.4	21.7	心疾患	67007	3076.9	14.0	老衰	54392	2497.6	11.3	
女	20-24歳	794	28.7	自殺	459	16.6	57.8	不慮の事故	72	2.6	9.1	悪性新生物	60	2.2	7.6
	25-29歳	877	30.3	自殺	422	14.6	48.1	悪性新生物	104	3.6	11.9	不慮の事故	70	2.4	8.0
	30-34歳	957	33.0	自殺	328	11.3	34.3	悪性新生物	243	8.4	25.4	心疾患	56	1.9	5.9
	35-39歳	1541	48.1	悪性新生物	543	16.9	35.2	自殺	338	10.5	21.9	心疾患	94	2.9	6.1
	40-44歳	2447	67.6	悪性新生物	1049	29.0	42.9	自殺	358	9.9	14.6	心疾患	166	4.6	6.8
	45-49歳	4555	108.5	悪性新生物	2262	53.9	49.7	自殺	464	11.0	10.2	脳血管疾患	338	8.0	7.4
	50-54歳	7954	167.9	悪性新生物	4095	86.4	51.5	脳血管疾患	590	12.5	7.4	自殺	588	12.4	7.4
	55-59歳	9884	238.3	悪性新生物	5379	129.7	54.4	心疾患	782	18.9	7.9	脳血管疾患	638	15.4	6.5
	60-64歳	12999	346.5	悪性新生物	6946	185.2	53.4	心疾患	1031	27.5	7.9	脳血管疾患	733	19.5	5.6
	65-69歳	19757	536.3	悪性新生物	9936	269.7	50.3	心疾患	1791	48.6	9.1	脳血管疾患	1135	30.8	5.7
	70-74歳	39471	918.9	悪性新生物	17265	402.0	43.7	心疾患	4173	97.2	10.6	脳血管疾患	2485	57.9	6.3
	75-79歳	65106	1514.9	悪性新生物	23660	550.5	36.3	心疾患	8014	186.5	12.3	脳血管疾患	4493	104.5	6.9
	80-84歳	108483	3040.0	悪性新生物	28599	801.4	26.4	心疾患	15108	423.4	13.9	老衰	9848	276.0	9.1
85歳以上	617348	13550.5	老衰	144776	3177.8	23.5	心疾患	97881	2148.4	15.9	悪性新生物	90618	1989.0	14.7	

注：1) 死因順位は、分類表「死因順位及び乳児死因順位に用いる分類項目（令和6年）」を用いた。  
 2) 死因順位は死亡数の多いものから定めた。死亡数が同数の場合は、同一順位に死因名を列記し、次位を空欄とした。  
 3) 死因名は次のように省略した。「心疾患」←「心疾患(高血圧性を除く)」

### ③ 20～64歳の主な死因の年齢調整死亡率

主な死因について、2024年の沖縄県と全国の20～64歳の年齢調整死亡率を比較すると、男女ともに悪性新生物、心疾患、肝疾患、脳血管疾患で全国より高くなっている。

図7 主な死因の20～64歳の年齢調整死亡率 - 2024年, 沖縄県・全国 -

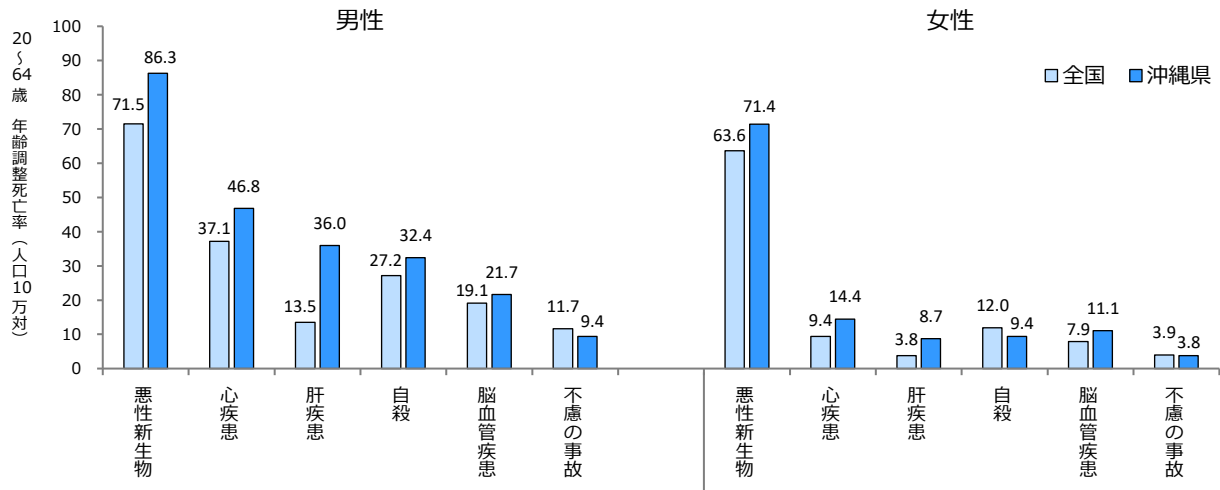
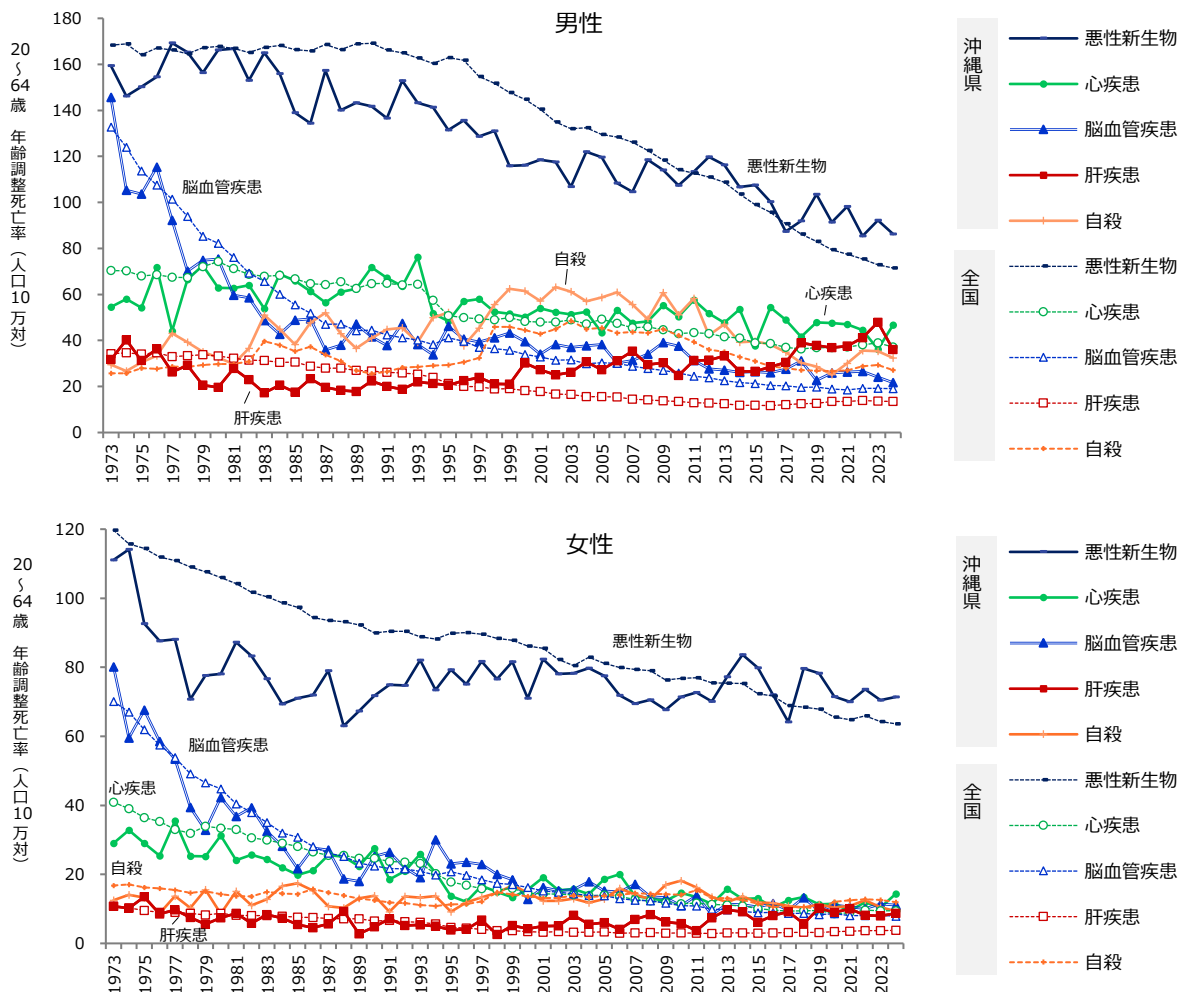


図8 主な死因の20～64歳の年齢調整死亡率の推移 - 1973年～2024年, 沖縄県・全国 -



(3) 都道府県別にみた20～64歳の年齢調整死亡率 - 2000年～2024年 -

20～64歳の年齢調整死亡率を都道府県別にみると、沖縄県は男女ともに高く推移しており、2024年の沖縄県の都道府県順位は、男性46位、女性43位となっている。(図9、表4)

2024年の都道府県順位が男女ともに全国1位であった滋賀県と沖縄県との20～64歳の年齢調整死亡率の差は、男性115.3、女性47.3であり、沖縄県男性の年齢調整死亡率は滋賀県の1.55倍、沖縄県女性は滋賀県の1.45倍になっている(表4)。

図9 都道府県別20～64歳の年齢調整死亡率の推移 - 2020年～2024年 -

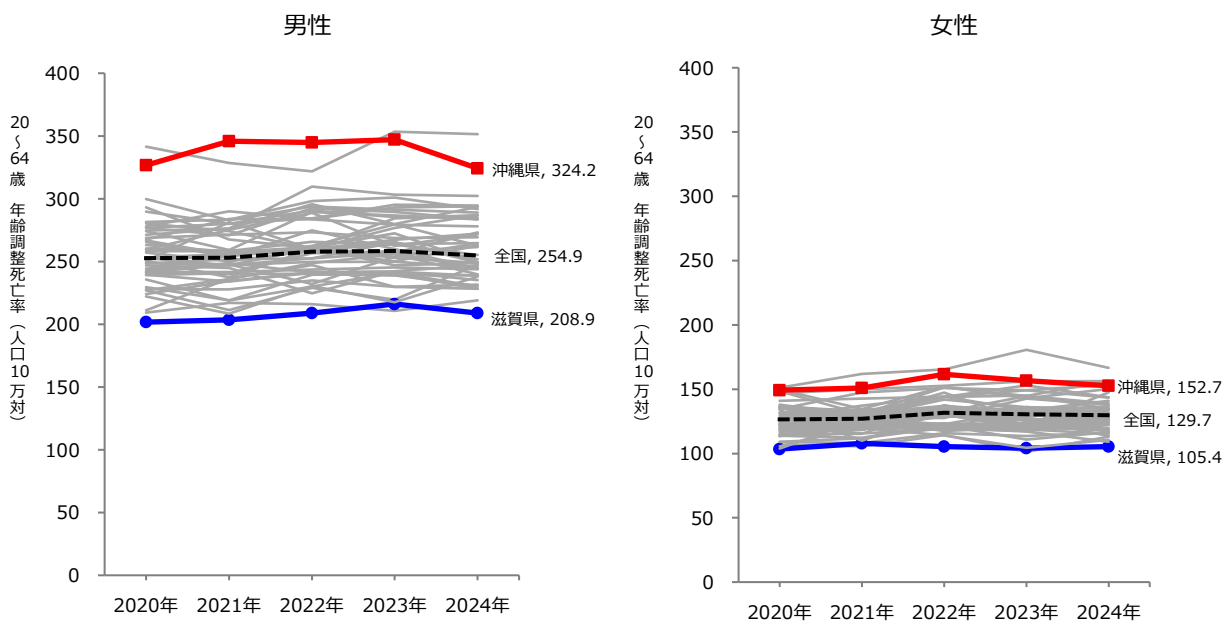


表4 20～64歳の年齢調整死亡率・都道府県順位・沖縄県と滋賀県、沖縄県と全国との差および比 - 2020年～2024年 -

			2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男	年齢調整死亡率	沖縄県	326.7	345.9	344.7	347.1	324.2
		滋賀県	201.7	203.6	208.8	216.1	208.9
		全国	252.7	253.1	257.7	258.4	254.9
	都道府県順位	沖縄県	46位	47位	47位	46位	46位
		滋賀県	1位	1位	1位	2位	1位
	年齢調整死亡率の差	沖縄県と滋賀県との差	125.0	142.3	135.9	131.0	115.3
		沖縄県と全国との差	74.0	92.8	87.0	88.7	69.3
年齢調整死亡率の比	沖縄県／滋賀県	1.62	1.70	1.65	1.61	1.55	
	沖縄県／全国	1.29	1.37	1.34	1.34	1.27	
女	年齢調整死亡率	沖縄県	149.3	150.9	161.6	156.7	152.7
		滋賀県	103.5	107.9	105.4	104.1	105.4
		全国	126.5	126.9	131.7	130.5	129.7
	都道府県順位	沖縄県	45位	46位	46位	46位	43位
		滋賀県	1位	2位	1位	2位	1位
	年齢調整死亡率の差	沖縄県と滋賀県との差	45.8	43.0	56.2	52.6	47.3
		沖縄県と全国との差	22.8	24.0	29.9	26.2	23.0
年齢調整死亡率の比	沖縄県／滋賀県	1.44	1.40	1.53	1.51	1.45	
	沖縄県／全国	1.18	1.19	1.23	1.20	1.18	

注：1) 年齢調整死亡率は人口10万対。

2) 都道府県順位は低率順。

表 5-1 都道府県別にみた 20～64 歳の年齢調整死亡率（人口 10 万対）・都道府県順位・沖縄県と全国 1 位の都道府県との差 - 2020 年～2024 年，男性 -

	男									
	2020年 率	2021年 率	2022年 率	2023年 率	2024年 率	2020年 順位	2021年 順位	2022年 順位	2023年 順位	2024年 順位
全国	252.7	253.1	257.7	258.4	254.9	-	-	-	-	-
北海道	276.8	280.1	290.6	285.5	285.1	39	40	40	38	37
青森県	341.4	328.4	321.8	353.4	351.3	47	46	46	47	47
岩手県	271.3	276.1	309.7	303.2	302.2	35	37	45	45	45
宮城県	250.6	237.4	259.8	265.4	249.1	22	12	24	29	21
秋田県	281.5	283.3	298.1	301.0	291.8	42	43	44	44	41
山形県	263.2	257.6	261.4	246.9	248.9	30	28	30	15	20
福島県	277.9	290.1	283.9	293.2	294.0	40	45	36	42	43
茨城県	276.7	270.9	292.3	289.5	283.7	38	33	41	40	36
栃木県	268.8	271.4	273.3	268.7	269.3	34	34	33	31	30
群馬県	250.5	281.4	259.9	267.3	272.2	21	41	25	30	32
埼玉県	260.4	258.5	259.0	263.9	264.6	29	30	23	27	29
千葉県	258.2	258.4	265.7	263.5	255.2	27	29	32	26	24
東京都	241.0	240.0	240.3	239.0	230.3	13	13	10	8	6
神奈川県	239.4	234.1	241.0	238.9	239.1	12	8	11	7	11
新潟県	253.0	256.0	261.1	272.5	249.5	25	27	29	32	22
富山県	224.0	234.5	241.5	242.0	235.0	5	9	13	12	8
石川県	229.7	219.0	239.5	240.2	228.4	9	6	9	9	4
福井県	227.0	211.3	229.1	219.5	247.4	6	3	4	4	18
山梨県	241.2	247.7	232.1	253.8	264.5	14	20	7	19	28
長野県	209.3	217.2	216.0	210.8	219.1	2	4	2	1	2
岐阜県	211.1	236.5	247.1	229.7	231.7	3	11	15	6	7
静岡県	241.7	241.6	243.5	245.3	243.9	15	15	14	14	13
愛知県	228.0	227.8	234.9	229.7	228.2	8	7	8	5	3
三重県	247.0	244.8	224.7	242.3	247.0	18	16	3	13	17
滋賀県	201.7	203.6	208.8	216.1	208.9	1	1	1	2	1
京都府	235.6	218.9	229.9	241.2	230.2	10	5	5	10	5
大阪府	267.5	283.9	283.5	279.4	278.0	33	44	35	34	34
兵庫県	242.7	248.7	241.2	241.7	238.8	16	21	12	11	10
奈良県	222.1	208.4	230.5	217.6	237.9	4	2	6	3	9
和歌山県	274.3	259.2	289.4	286.7	283.6	36	31	39	39	35
鳥取県	252.7	247.0	260.5	253.0	248.9	24	17	27	18	19
島根県	248.5	251.7	252.5	257.0	244.3	19	23	18	22	14
岡山県	227.1	236.0	248.7	255.8	239.7	7	10	16	20	12
広島県	244.4	247.2	249.8	249.8	245.6	17	19	17	16	16
山口県	266.7	255.1	258.2	256.8	273.2	32	26	21	21	33
徳島県	259.5	275.3	288.8	262.4	271.7	28	36	38	25	31
香川県	248.9	247.1	252.6	265.2	251.8	20	18	19	28	23
愛媛県	280.3	274.2	260.0	276.7	286.9	41	35	26	33	39
高知県	274.6	276.2	295.6	279.9	293.5	37	38	43	36	42
福岡県	252.0	253.9	262.5	279.6	262.7	23	25	31	35	27
佐賀県	265.4	253.7	274.8	259.9	244.5	31	24	34	24	15
長崎県	293.1	267.6	260.6	284.4	286.8	44	32	28	37	38
熊本県	257.0	250.2	258.6	250.3	262.6	26	22	22	17	26
大分県	239.2	240.8	256.5	258.0	261.5	11	14	20	23	25
宮崎県	289.7	280.1	284.3	295.2	294.6	43	39	37	43	44
鹿児島県	299.8	282.8	293.9	291.2	289.1	45	42	42	41	40
沖縄県	326.7	345.9	344.7	347.1	324.2	46	47	47	46	46

注1) 年齢調整死亡率の計算に使用した人口は、令和2年国勢調査基準人口、人口推計（各年10月1日現在）

注2) 順位は低率順である。 都道府県順位 1～5位 都道府県順位 43～47位

沖縄県と都道府県順位が全国1位の県との差 - 男性 -

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全国1位の県	滋賀県	滋賀県	滋賀県	長野県	滋賀県
全国1位の県（率）	201.7	203.6	208.8	210.8	208.9
全国1位と沖縄県との差	125.0	142.3	135.9	136.3	115.3

表 5-2 都道府県別にみた 20～64 歳の年齢調整死亡率（人口 10 万対）・都道府県順位・沖縄県と全国 1 位の都道府県との差 - 2020 年～2024 年，女性 -

	女									
	2020年 率	2021年 率	2022年 率	2023年 率	2024年 率	2020年 順位	2021年 順位	2022年 順位	2023年 順位	2024年 順位
全国	126.5	126.9	131.7	130.5	129.7	-	-	-	-	-
北海道	146.9	149.9	152.7	156.3	156.3	43	45	45	45	45
青森県	151.2	162.0	165.5	180.7	166.6	47	47	47	47	47
岩手県	149.7	134.6	152.0	143.1	150.1	46	41	44	38	42
宮城県	123.4	127.5	131.2	126.2	128.9	23	27	23	22	25
秋田県	148.4	130.6	151.5	144.8	156.6	44	34	43	40	46
山形県	136.4	118.5	133.5	122.8	124.9	38	10	30	16	18
福島県	134.5	147.4	151.0	149.2	153.3	34	44	42	43	44
茨城県	138.0	129.5	144.0	153.0	143.7	41	30	38	44	40
栃木県	141.0	142.7	144.2	149.2	143.5	42	43	39	42	39
群馬県	128.2	128.6	141.9	136.0	135.1	28	29	36	35	33
埼玉県	136.6	132.9	134.9	134.0	136.5	39	39	32	33	35
千葉県	126.7	127.3	135.1	134.6	131.1	26	26	33	34	28
東京都	123.7	124.1	129.1	126.1	122.0	24	23	19	21	14
神奈川県	122.0	122.4	129.2	125.8	127.1	19	20	20	20	22
新潟県	122.0	131.3	133.3	127.9	119.5	21	37	29	24	12
富山県	119.6	118.3	132.0	122.4	117.6	16	9	26	15	10
石川県	108.8	108.2	115.7	113.7	116.4	5	3	4	5	7
福井県	106.5	105.6	114.3	101.3	113.1	4	1	3	1	4
山梨県	113.4	129.6	147.3	124.9	127.4	7	31	41	19	23
長野県	120.0	123.3	122.2	118.9	115.3	17	22	11	9	6
岐阜県	122.0	126.2	117.5	120.2	118.2	20	24	5	11	11
静岡県	131.1	120.6	128.9	131.1	126.2	30	15	18	27	21
愛知県	122.2	115.6	119.1	123.0	119.5	22	8	7	17	13
三重県	114.8	121.1	123.1	123.5	125.5	10	17	15	18	20
滋賀県	103.5	107.9	105.4	104.1	105.4	1	2	1	2	1
京都府	109.2	111.9	120.2	117.1	109.1	6	5	9	6	2
大阪府	131.8	134.2	134.2	133.6	133.3	32	40	31	30	30
兵庫県	118.5	120.5	123.5	120.2	123.4	14	14	16	12	16
奈良県	117.7	119.5	119.3	117.6	122.6	13	12	8	7	15
和歌山県	119.0	130.8	132.2	144.7	139.0	15	35	27	39	37
鳥取県	115.0	115.3	137.5	126.8	113.6	11	7	35	23	5
島根県	113.8	119.8	114.1	104.4	110.7	9	13	2	3	3
岡山県	105.6	121.2	121.8	111.0	116.6	3	18	10	4	9
広島県	113.8	112.2	122.6	121.8	124.1	8	6	12	14	17
山口県	125.8	129.8	129.8	132.2	129.8	25	32	21	28	27
徳島県	133.8	110.0	132.6	128.8	134.3	33	4	28	25	31
香川県	135.6	122.9	118.6	136.2	131.5	36	21	6	36	29
愛媛県	131.5	131.2	137.1	132.3	136.4	31	36	34	29	34
高知県	136.8	119.4	131.3	121.6	147.5	40	11	24	13	41
福岡県	129.5	130.0	131.9	130.1	129.6	29	33	25	26	26
佐賀県	120.8	120.9	122.9	117.9	125.4	18	16	14	8	19
長崎県	135.3	128.1	127.6	142.7	138.1	35	28	17	37	36
熊本県	116.6	122.4	130.1	119.7	127.8	12	19	22	10	24
大分県	103.8	126.8	122.7	133.7	116.5	2	25	13	32	8
宮崎県	135.7	132.8	143.8	145.1	134.8	37	38	37	41	32
鹿児島県	127.6	137.2	144.3	133.6	141.1	27	42	40	31	38
沖縄県	149.3	150.9	161.6	156.7	152.7	45	46	46	46	43

注1) 年齢調整死亡率の計算に使用した人口は、令和2年国勢調査基準人口、人口推計（各年10月1日現在）

注2) 順位は低率順である。 都道府県順位 1～5位 都道府県順位 43～47位

沖縄県と都道府県順位が全国1位の県との差 - 女性 -

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全国1位の県	滋賀県	福井県	滋賀県	福井県	滋賀県
全国1位の県（率）	103.5	105.6	105.4	101.3	105.4
全国1位と沖縄県との差	45.8	45.3	56.2	55.4	47.3

(4) 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡率 - 2020年～2024年 -

年齢（5歳階級）別死亡率を滋賀県と比較すると、沖縄県は男女ともに85歳以上では滋賀県を下回っているが、男性では15～84歳、女性では30～84歳の各年齢階級で滋賀県の死亡率を上回っている。（図10、表6）

沖縄県の死亡率性比（男の死亡率／女の死亡率×100）を年齢（5歳階級）別にみると、20～34歳、40～44歳、55～79歳の各年齢階級で、男の死亡率が女の死亡率の2倍以上となっている（表6）。

図10 性・年齢階級別死亡率 - 2020年～2024年， 沖縄県・滋賀県・全国 -

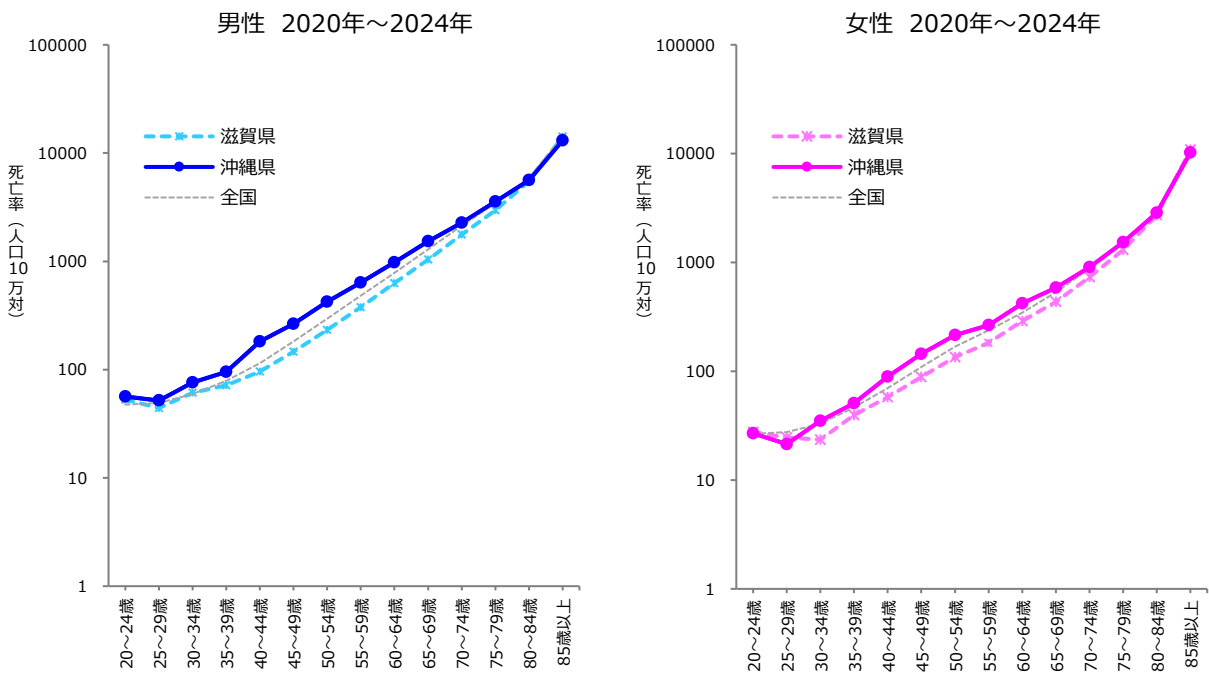


表6 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）・死亡率性比 - 2020年～2024年 -

	死亡数（人）						死亡率（人口10万対）						死亡率性比		
	男性			女性			男性			女性			沖縄県	滋賀県	全国
	沖縄県	滋賀県	全国	沖縄県	滋賀県	全国	沖縄県	滋賀県	全国	沖縄県	滋賀県	全国			
総数	38,174	37,026	3,866,640	33,420	35,208	3,696,415	1,076.5	1,096.9	1,304.7	909.3	1,011.2	1,179.7	118.4	108.5	110.6
0～4歳	99	62	4,986	85	51	4,394	53.1	45.6	46.9	47.6	39.7	43.3	111.5	114.9	108.2
5～9歳	12	8	891	18	12	745	5.8	5.0	7.2	9.0	7.9	6.3	64.0	63.4	113.9
10～14歳	16	18	1,257	14	12	1,015	7.6	10.4	9.4	6.9	7.3	8.0	111.2	142.2	117.8
15～19歳	67	47	3,822	36	31	2,488	33.5	26.1	27.3	19.0	18.5	18.8	176.7	141.0	145.8
20～24歳	99	97	7,065	45	46	3,779	56.5	52.7	47.5	26.8	27.6	26.6	210.9	190.6	178.5
25～29歳	93	75	7,451	38	38	4,019	51.8	44.2	49.2	21.4	24.6	27.6	242.1	180.0	178.1
30～34歳	148	108	9,270	70	39	4,907	75.9	61.2	59.5	35.0	23.5	32.8	216.7	260.7	181.4
35～39歳	215	145	13,867	117	77	7,901	95.6	71.4	78.9	50.8	39.6	46.6	188.0	180.2	169.3
40～44歳	432	217	22,639	214	128	13,347	181.4	96.0	114.7	89.1	57.6	70.0	203.6	166.8	163.8
45～49歳	700	391	42,495	374	229	24,688	264.2	146.6	181.9	144.0	88.5	109.2	183.5	165.6	166.6
50～54歳	1,053	594	68,801	526	336	38,337	422.0	231.8	295.7	214.6	134.5	168.8	196.7	172.3	175.2
55～59歳	1,402	809	96,093	584	395	47,181	638.5	376.4	479.9	265.4	182.4	237.3	240.6	206.3	202.2
60～64歳	2,183	1,227	142,487	937	591	63,947	975.6	626.7	779.4	419.2	290.2	344.2	232.7	215.9	226.4
65～69歳	3,528	2,068	238,950	1,355	905	103,646	1,532.2	1,041.6	1,295.6	584.2	433.8	533.1	262.3	240.1	243.0
70～74歳	4,905	4,063	452,705	2,006	1,850	207,962	2,277.1	1,762.1	2,133.3	900.7	731.9	876.4	252.8	240.7	243.4
75～79歳	4,290	5,170	554,631	2,153	2,625	302,622	3,552.1	2,965.1	3,436.3	1,537.3	1,302.1	1,524.9	231.1	227.7	225.3
80～84歳	5,823	6,852	703,908	3,949	4,387	497,282	5,613.6	5,507.1	5,915.3	2,853.5	2,730.5	2,973.6	196.7	201.7	198.9
85歳以上	13,107	15,075	1,493,570	20,898	23,456	2,367,614	13,083.8	14,141.4	14,379.8	10,208.5	10,849.0	10,709.8	128.2	130.3	134.3
(再掲)															
20～64歳	6,325	3,663	410,168	2,905	1,879	208,106	320.9	193.5	244.4	147.9	102.5	127.3	217.0	188.7	192.0

注：1）総数には、年齢不詳を含む

2）死亡率性比＝男の死亡率／女の死亡率×100 死亡率性比が200以上

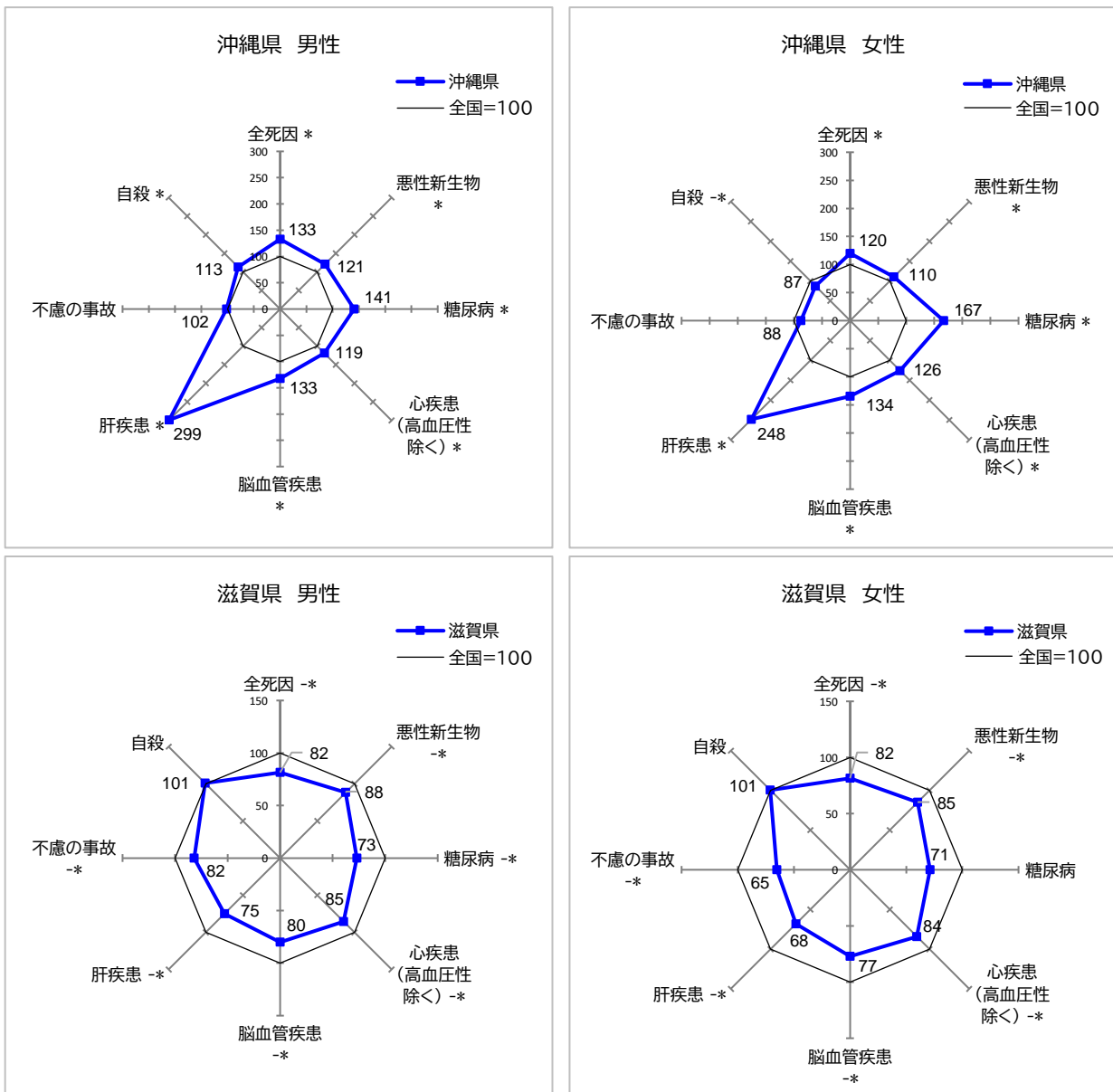
(5) 20～64歳の主な死因の標準化死亡比(SMR)<sup>※1</sup>と過剰死亡数<sup>※2</sup> - 2020年～2024年 -

沖縄県の20～64歳の全死因の標準化死亡比(SMR)は、男性133、女性120であり、沖縄県の死亡率は男性では全国より1.33倍、女性では全国より1.20倍高く、過剰死亡数(沖縄県の死亡率が全国並みであった場合に防げたであろう死亡)は男性1,569人、女性482人となっている。(図11、図12)

SMRを主な死因別にみると、沖縄県は男女ともに悪性新生物、糖尿病、心疾患、脳血管疾患、肝疾患で全国と比べて有意に高くなっている。肝疾患のSMRは、男性299、女性248であり、男性では全国の死亡率の約3倍、女性では約2.5倍となっている。(図11)

2020年～2024年の20～64歳の年齢調整死亡率が男女ともに全国1位～2位であった滋賀県の全死因のSMRは、男女ともに82(全国の死亡率の0.82倍)である。SMRを主な死因別にみると、男女ともに悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肝疾患、不慮の事故で全国と比べて有意に低くなっている。(図11)

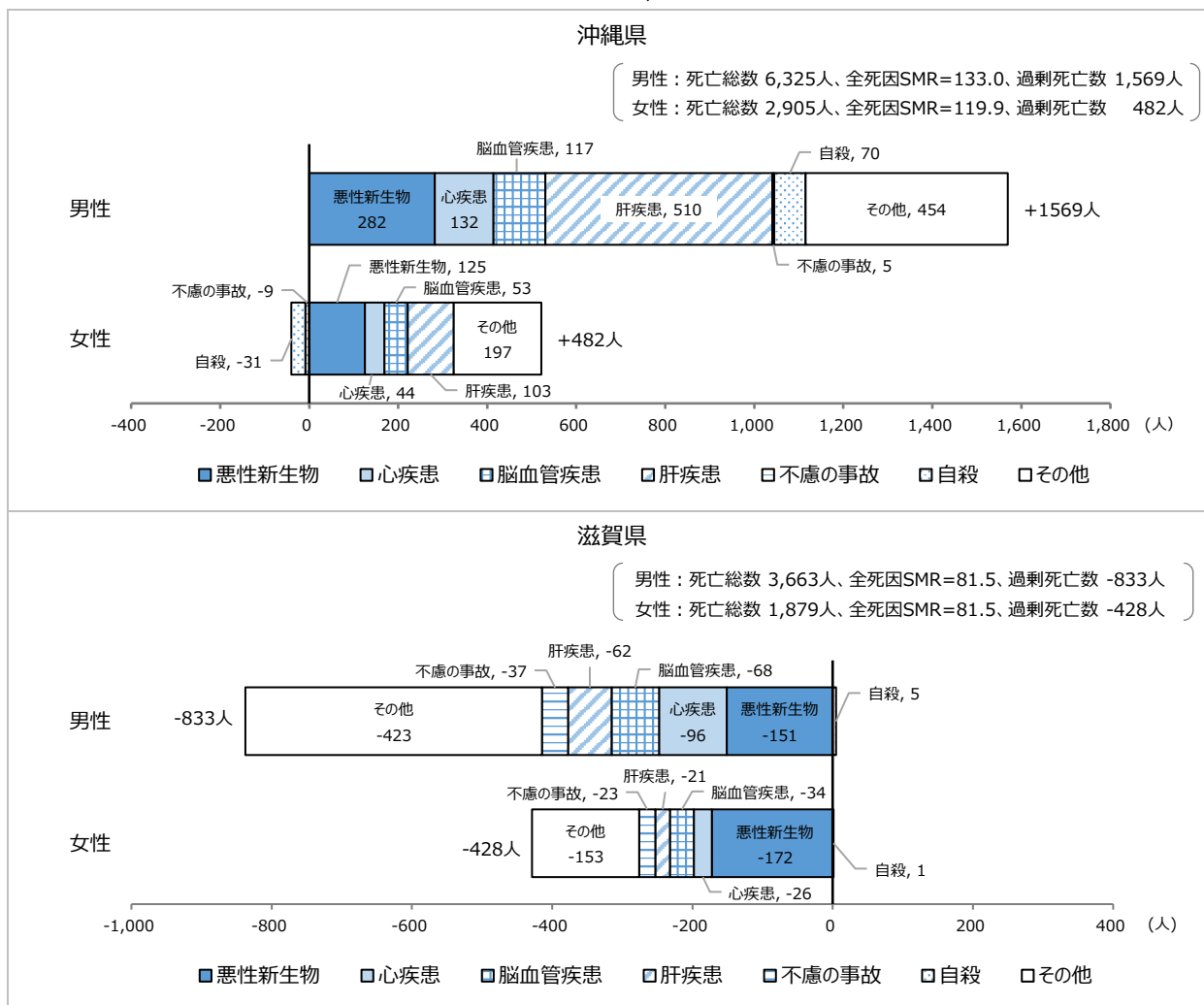
図11 20～64歳の主な死因の標準化死亡比(SMR) - 2020～2024年、沖縄県・滋賀県 -



\* : 全国と比べて有意に高い (SMR>100 かつ 95%信頼区間下限>100)

-\* : 全国と比べて有意に低い (SMR<100 かつ 95%信頼区間上限<100)

図 12 20～64 歳の主な死因の過剰死亡数 - 2020～2024 年, 沖縄県・滋賀県-



※1 標準化死亡比（SMR）：年齢構成の異なる地域間で死亡率を比較するための指標。ある集団（都道府県）の死亡率が基準集団（ここでは全国）と比べてどのくらい高いかを示す比で、「ある集団の実際の死亡数が、基準集団（全国）の死亡率と同じだった場合に予想される死亡数（期待死亡数）の何倍か」という形で求められます。

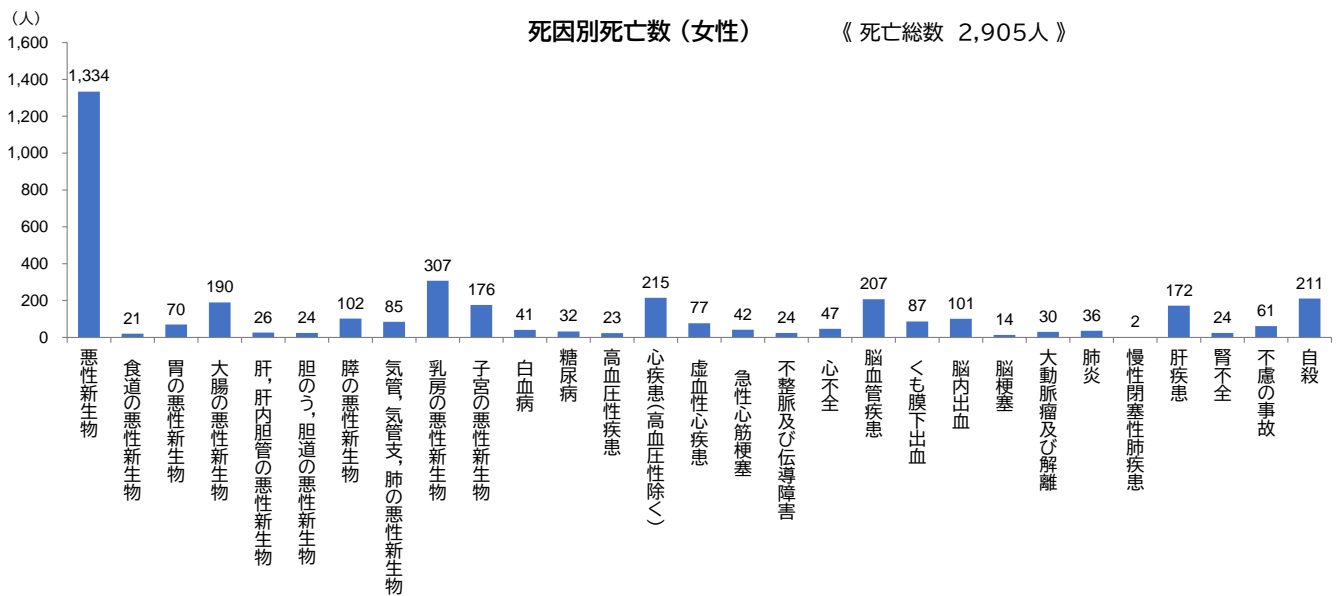
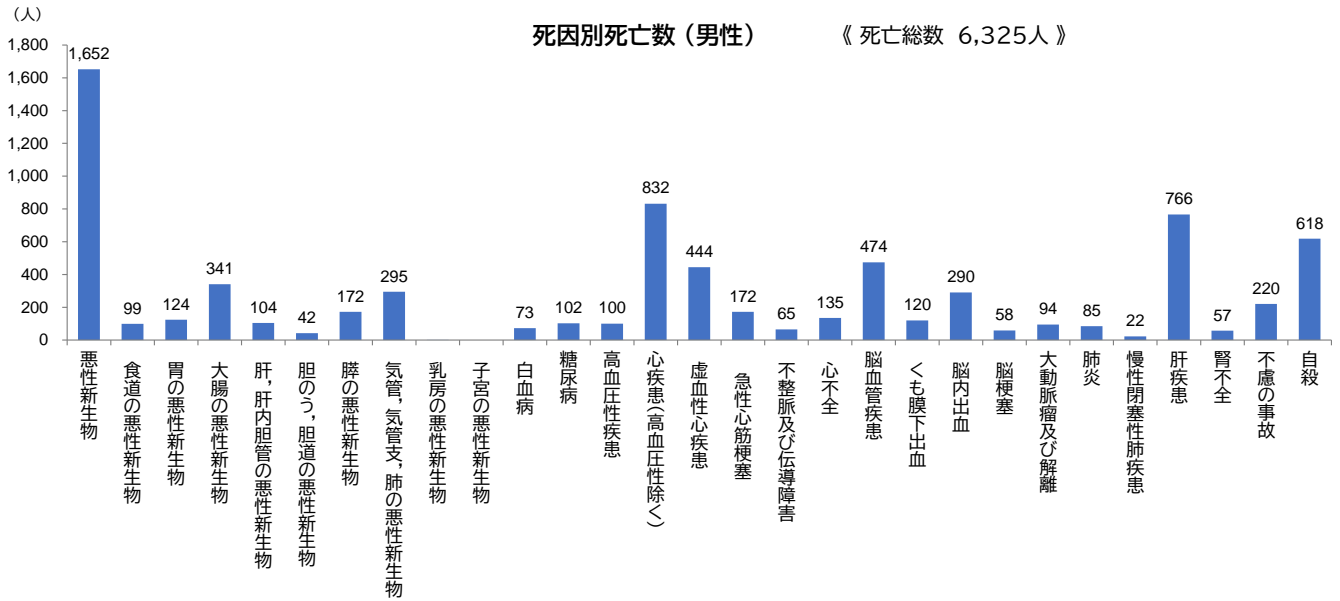
全国 = 100 として、SMR が 100 より大きい場合は全国平均より死亡率が高く（死亡数が多く）、100 より小さい場合は、全国平均より死亡率が低い（死亡数が少ない）ことを示します。例えば、全国を基準として計算した SMR = 110 であった場合、「年齢を調整した場合、全国より 1.1 倍死亡率が高い（死亡数が多い）」といえます。

※2 過剰死亡数：死亡率が基準（ここでは全国）と同じであった場合と比べると、何人過剰に死亡したと考えられるかを示します。例えば、SMR = 110 で死亡数が 200 人であったとすると、110 のうち 10 が過剰なので、 $200 \times (110 - 100) \div 110 \approx 18$  人が過剰に死亡した人数と考えます。SMR が大きく、死亡数も多く、予防可能な死因であれば、特に対策が重要だと考えられます<sup>1)</sup>。

<参考文献>

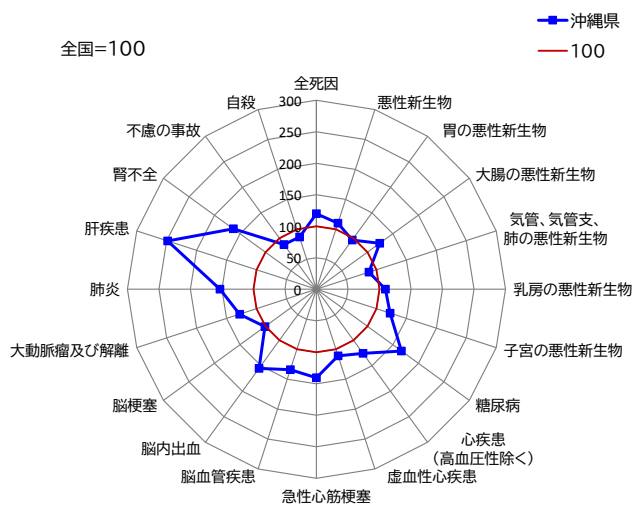
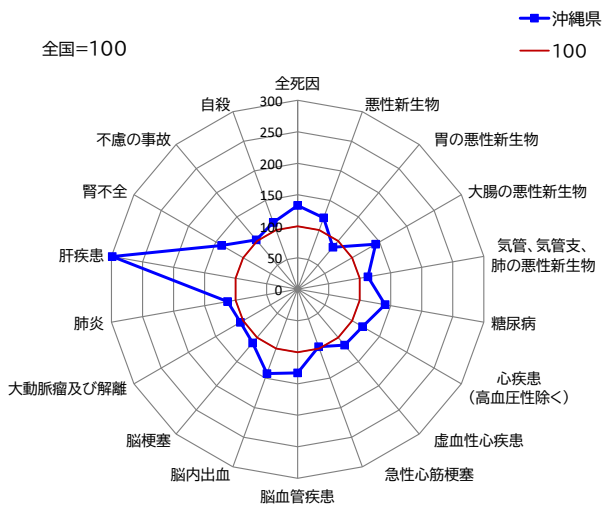
- 1) 国立保健医療科学院「平成 20～24 年 保健所・市町村別死因別標準化死亡比（SMR）と死亡数・過剰死亡数の見える化ツール」<https://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/datakatsuyou/data/h20-24-smr-mieruka.xlsx>

# 沖縄県 20～64歳の死亡数・死因別標準化死亡比(SMR) (2020～2024年)



死因別標準化死亡比の状況(男性)

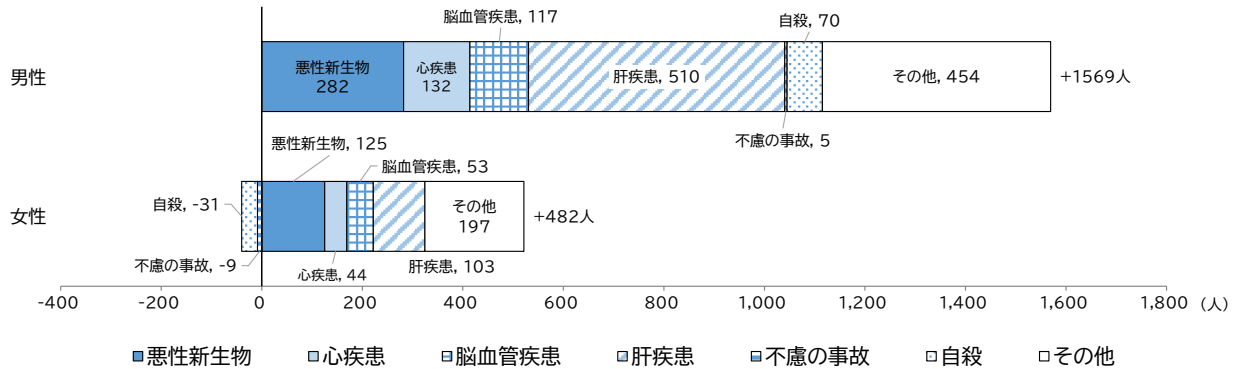
死因別標準化死亡比の状況(女性)



※標準化死亡比が100より大きい場合は基準集団(全国)より死亡率が高く、100より小さい場合は低いことを意味します。  
 ただし、統計学的に有意に高い(低い)かどうかは右表の判定区分をご確認ください。

過剰死亡数

男性：死亡総数 SMR=133.0、過剰死亡数 1,569人  
女性：死亡総数 SMR=119.9、過剰死亡数 482人



※ 過剰死亡数：沖縄県の死亡率が全国の死亡率と同じ(SMR=100)であった場合に比べて、何人過剰に死亡したと考えられるかを示します。SMRが大きく、死亡数が多く、予防可能な死因であれば、特に対策が重要だと考えられます。

$$\text{過剰死亡数} = \text{都道府県の(死因別)死亡数} \times \frac{\text{SMR}-100}{\text{SMR}}$$

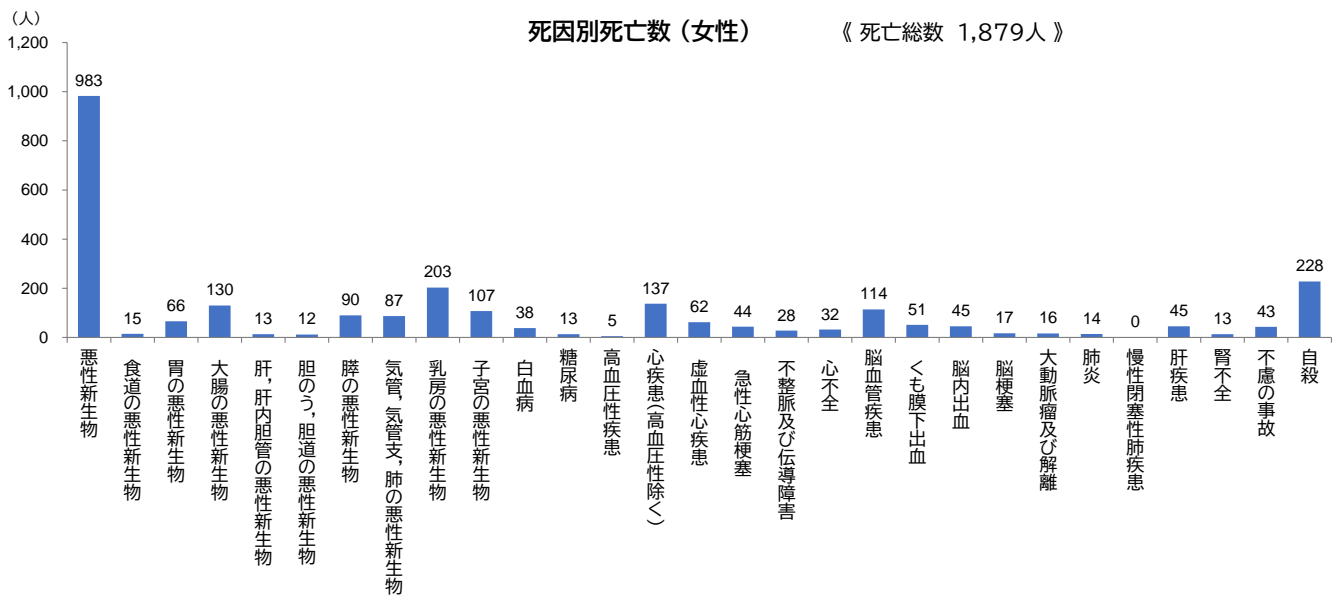
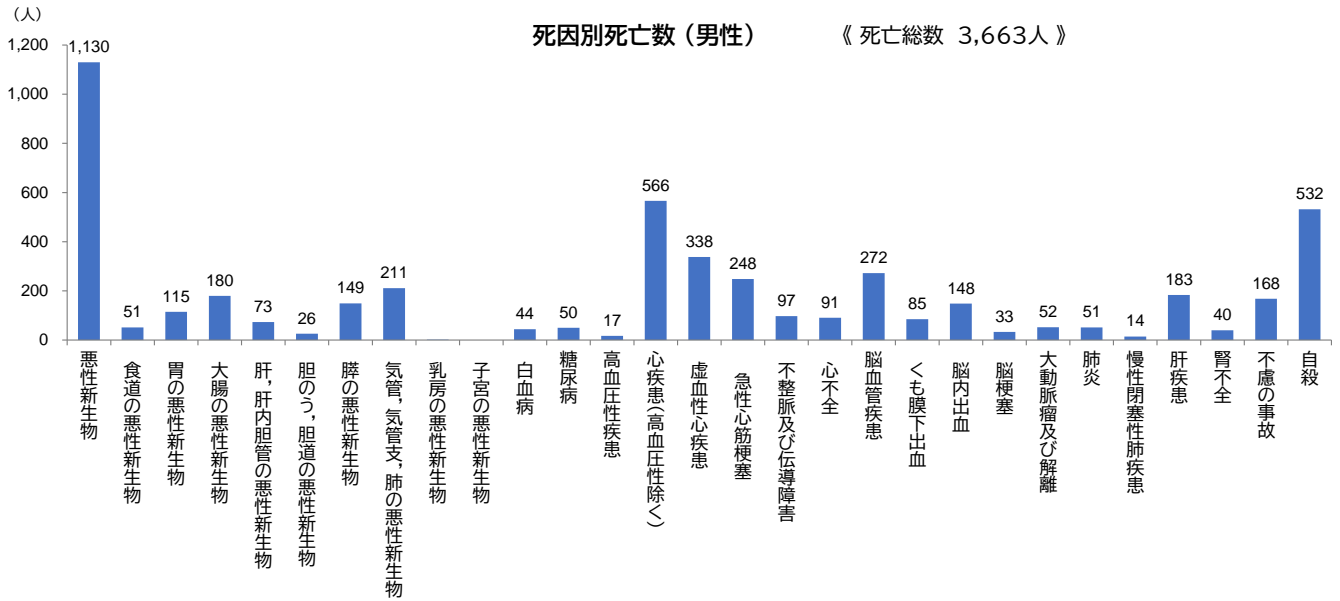
沖縄県 20～64歳の死亡数・死因別標準化死亡比(SMR) (2020～2024年)

	男性							女性						
	死亡数	期待死亡数	SMR	95%信頼区間		判定区分	過剰死亡数	死亡数	期待死亡数	SMR	95%信頼区間		判定区分	過剰死亡数
				下限	上限						下限	上限		
死亡総数	6,325	4,755.7	133.0	129.7	136.3	▲	1,569	2,905	2,423.5	119.9	115.5	124.3	▲	482
Se02 悪性新生物	1,652	1,370.0	120.6	114.8	126.5	▲	282	1,334	1,209.0	110.3	104.5	116.4	▲	125
Se03 食道の悪性新生物	99	68.2	145.2	118.0	176.8	▲	31	21	19.3	108.6	67.2	165.9		2
Se04 胃の悪性新生物	124	142.3	87.1	72.5	103.9		-18	70	72.6	96.4	75.2	121.9		-3
Se05 Se06 大腸の悪性新生物	341	238.7	142.8	128.1	158.8	▲	102	190	153.2	124.0	107.0	143.0	▲	37
Se05 結腸の悪性新生物	198	134.7	147.0	127.2	168.9	▲	63	138	102.9	134.1	112.6	158.4	▲	35
Se06 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	143	104.0	137.5	115.9	162.0	▲	39	52	50.2	103.5	77.3	135.8		2
Se07 肝及び肝内胆管の悪性新生物	104	97.3	106.9	87.4	129.6		7	26	23.2	112.0	73.2	164.2		3
Se08 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	42	35.1	119.5	86.1	161.5		7	24	22.2	108.4	69.4	161.2		2
Se09 膵の悪性新生物	172	165.5	103.9	89.0	120.7		7	102	100.3	101.7	82.9	123.5		2
Se10 気管、気管支及び肺の悪性新生物	295	260.6	113.2	100.7	126.9	▲	34	85	97.1	87.5	69.9	108.2		-12
Se11 乳房の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	307	280.5	109.5	97.6	122.4		27
Se12 子宮の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	176	143.4	122.7	105.3	142.2	▲	33
Se13 白血病	73	49.7	146.8	115.0	184.5	▲	23	41	28.8	142.4	102.2	193.2	▲	12
Se14 糖尿病	102	72.4	140.9	114.9	171.0	▲	30	32	19.2	166.7	114.0	235.4	▲	13
Se15 高血圧性疾患	100	31.8	314.7	256.0	382.7	▲	68	23	5.8	396.5	251.2	594.9	▲	17
Se16 心疾患(高血圧性除く)	832	699.8	118.9	111.0	127.3	▲	132	215	171.1	125.7	109.4	143.6	▲	44
Se17 Se18 虚血性心疾患	444	383.2	115.9	105.3	127.2	▲	61	77	69.2	111.3	87.8	139.1		8
Se17 急性心筋梗塞	172	177.2	97.1	83.1	112.7		-5	42	29.9	140.5	101.2	189.9	▲	12
Se18 その他の虚血性心疾患	272	206.0	132.0	116.8	148.7	▲	66	35	39.3	89.1	62.0	123.9		-4
Se19 不整脈及び伝導障害	65	127.1	51.1	39.5	65.2	▽	-62	24	35.6	67.4	43.2	100.3		-12
Se20 心不全	135	118.2	114.2	95.8	135.2		17	47	42.8	109.8	80.6	146.0		4
Se21 脳血管疾患	474	357.4	132.6	120.9	145.1	▲	117	207	154.2	134.2	116.6	153.8	▲	53
Se22 くも膜下出血	120	90.7	132.3	109.7	158.2	▲	29	87	69.9	124.5	99.7	153.6		17
Se23 脳内出血	290	203.7	142.4	126.5	159.7	▲	86	101	65.1	155.2	126.4	188.6	▲	36
Se24 脳梗塞	58	52.1	111.3	84.5	143.9		6	14	13.9	100.9	55.1	169.3		0
Se25 大動脈瘤及び解離	94	89.8	104.7	84.6	128.2		4	30	23.4	128.3	86.5	183.1		7
Se26 肺炎	85	75.3	112.9	90.2	139.6		10	36	23.5	153.1	107.2	212.0	▲	12
Se27 慢性閉塞性肺疾患	22	15.6	141.1	88.4	213.6		6	2	3.0	66.2	7.4	239.2		-1
Se29 肝疾患	766	256.4	298.7	278.0	320.7	▲	510	172	69.3	248.4	212.6	288.4	▲	103
Se30 腎不全	57	40.9	139.3	105.5	180.4	▲	16	24	14.7	163.1	104.5	242.7	▲	9
Se32 不慮の事故	220	215.3	102.2	89.1	116.6		5	61	69.7	87.6	67.0	112.5		-9
Se34 自殺	618	547.9	112.8	104.1	122.0	▲	70	211	242.1	87.1	75.8	99.7	▽	-31

判定区分 ▲:基準(全国)と比べて有意に高い (SMR>100 かつ 95%信頼区間下限>100)

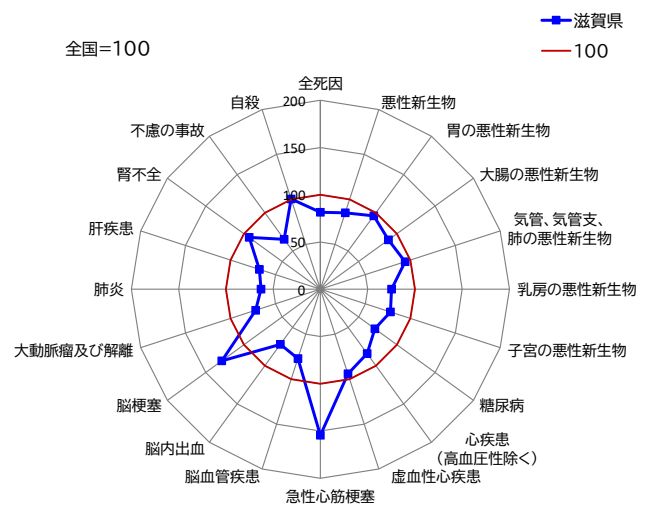
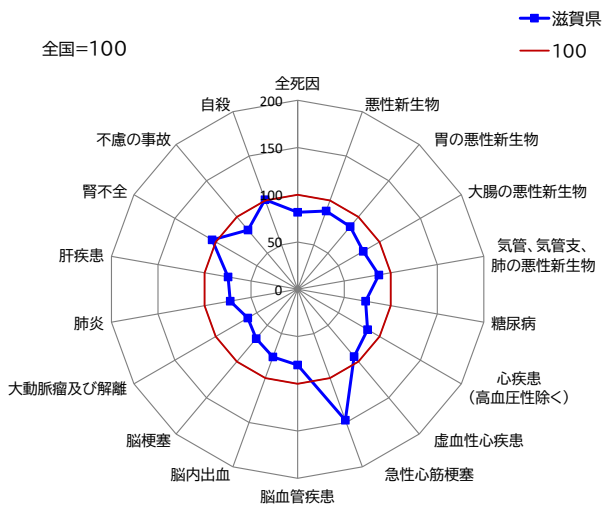
▽:基準(全国)と比べて有意に低い (SMR<100 かつ 95%信頼区間上限<100)

# 滋賀県 20～64歳の死亡数・死因別標準化死亡比(SMR) (2020～2024年)



死因別標準化死亡比の状況(男性)

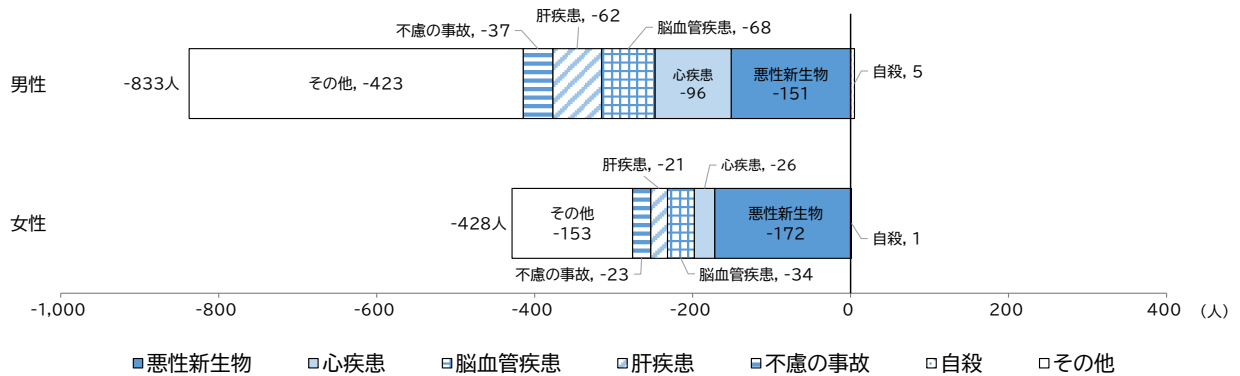
死因別標準化死亡比の状況(女性)



※標準化死亡比が100より大きい場合は基準集団(全国)より死亡率が高く、100より小さい場合は低いことを意味します。  
ただし、統計学的に有意に高い(低い)かどうかは右表の判定区分をご確認ください。

過剰死亡数

男性：死亡総数 SMR=81.5、過剰死亡数 -833人  
女性：死亡総数 SMR=81.5、過剰死亡数 -428人



※ 過剰死亡数：滋賀県の死亡率が全国の死亡率と同じ(SMR=100)であった場合に比べて、何人過剰に死亡したと考えられるかを示します。SMRが大きく、死亡数が多く、予防可能な死因であれば、特に対策が重要だと考えられます。

$$\text{過剰死亡数} = \text{都道府県の(死因別)死亡数} \times \frac{\text{SMR}-100}{\text{SMR}}$$

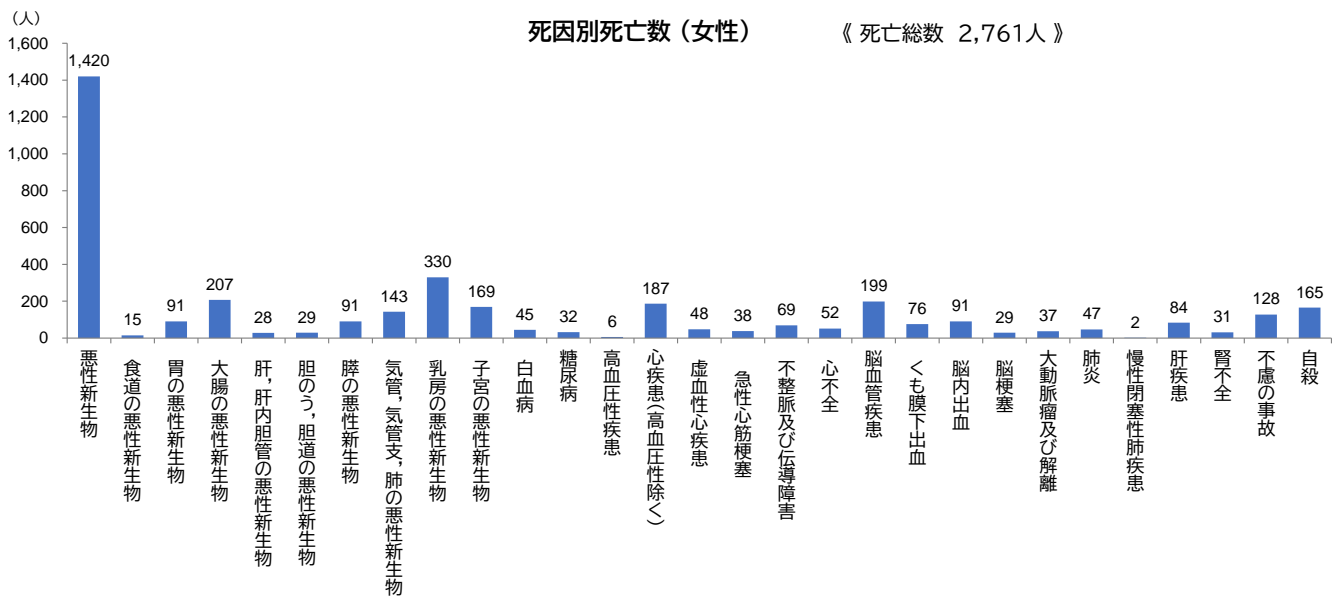
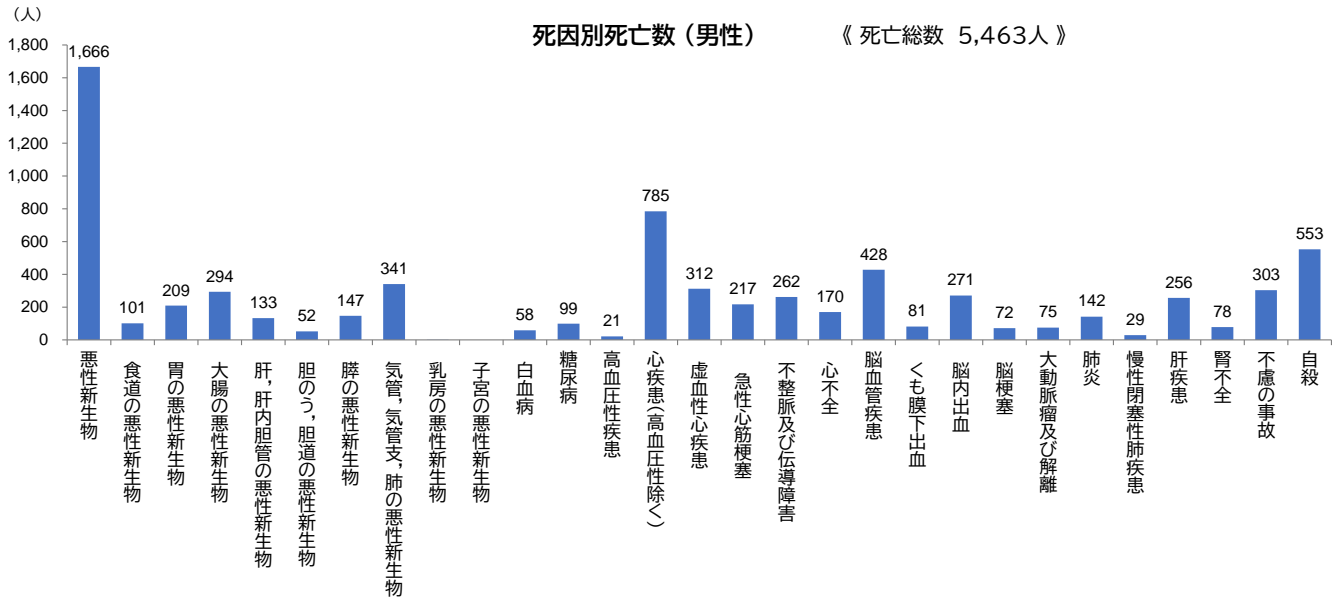
滋賀県 20～64歳の死亡数・死因別標準化死亡比(SMR) (2020～2024年)

	男性							女性						
	死亡数	期待死亡数	SMR	95%信頼区間		判定区分	過剰死亡数	死亡数	期待死亡数	SMR	95%信頼区間		判定区分	過剰死亡数
				下限	上限						下限	上限		
死亡総数	3,663	4,495.5	81.5	78.9	84.2	▽	-833	1,879	2,306.5	81.5	77.9	85.3	▽	-428
Se02 悪性新生物	1,130	1,281.2	88.2	83.1	93.5	▽	-151	983	1,155.1	85.1	79.9	90.6	▽	-172
Se03 食道の悪性新生物	51	63.4	80.5	59.9	105.8		-12	15	18.5	81.0	45.3	133.6		-4
Se04 胃の悪性新生物	115	132.8	86.6	71.5	104.0		-18	66	68.8	96.0	74.2	122.1		-3
Se05 Se06 大腸の悪性新生物	180	224.3	80.2	68.9	92.8	▽	-44	130	146.3	88.9	74.3	105.6		-16
Se05 結腸の悪性新生物	98	126.5	77.5	62.9	94.4	▽	-29	83	98.3	84.5	67.3	104.8		-15
Se06 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	82	97.8	83.8	66.6	104.0		-16	47	48.0	97.9	71.9	130.2		-1
Se07 肝及び肝内胆管の悪性新生物	73	90.4	80.8	63.3	101.6		-17	13	22.0	59.1	31.4	101.1		-9
Se08 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	26	32.6	79.8	52.1	116.9		-7	12	21.0	57.0	29.4	99.6	▽	-9
Se09 膵の悪性新生物	149	155.2	96.0	81.2	112.7		-6	90	95.5	94.2	75.7	115.8		-6
Se10 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	211	242.0	87.2	75.8	99.8	▽	-31	87	92.3	94.2	75.4	116.2		-5
Se11 乳房の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	203	269.5	75.3	65.3	86.4	▽	-66
Se12 子宮の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	107	137.5	77.8	63.8	94.0	▽	-31
Se13 白血病	44	46.9	93.9	68.2	126.1		-3	38	27.2	139.5	98.7	191.5		11
Se14 糖尿病	50	68.5	73.0	54.2	96.2	▽	-18	13	18.3	71.2	37.9	121.8		-5
Se15 高血圧性疾患	17	29.9	56.8	33.1	90.9	▽	-13	5	5.5	90.2	29.1	210.5		-1
Se16 心疾患(高血圧性除く)	566	662.5	85.4	78.5	92.7	▽	-96	137	162.8	84.1	70.6	99.4	▽	-26
Se17 Se18 虚血性心疾患	338	363.0	93.1	83.4	103.6		-25	62	65.9	94.0	72.1	120.5		-4
Se17 急性心筋梗塞	248	168.1	147.5	129.7	167.0	▲	80	44	28.5	154.5	112.2	207.4	▲	16
Se18 その他の虚血性心疾患	90	194.9	46.2	37.1	56.8	▽	-105	18	37.5	48.0	28.4	75.9	▽	-19
Se19 不整脈及び伝導障害	97	120.5	80.5	65.3	98.2	▽	-23	28	33.9	82.6	54.9	119.4		-6
Se20 心不全	91	111.5	81.6	65.7	100.2		-20	32	40.7	78.6	53.8	111.0		-9
Se21 脳血管疾患	272	339.7	80.1	70.9	90.2	▽	-68	114	147.9	77.1	63.6	92.6	▽	-34
Se22 くも膜下出血	85	87.1	97.6	78.0	120.7		-2	51	67.2	75.9	56.5	99.8	▽	-16
Se23 脳内出血	148	193.9	76.3	64.5	89.6	▽	-46	45	62.4	72.1	52.6	96.5	▽	-17
Se24 脳梗塞	33	48.4	68.2	46.9	95.8	▽	-15	17	13.2	129.0	75.1	206.6		4
Se25 大動脈瘤及び解離	52	85.4	60.9	45.5	79.9	▽	-33	16	22.2	72.0	41.1	116.9		-6
Se26 肺炎	51	70.3	72.5	54.0	95.3	▽	-19	14	22.3	62.8	34.3	105.4		-8
Se27 慢性閉塞性肺疾患	14	14.3	97.8	53.4	164.1		0	0	2.9					
Se29 肝疾患	183	244.8	74.8	64.4	86.5	▽	-62	45	66.2	68.0	49.6	91.0	▽	-21
Se30 腎不全	40	38.3	104.4	74.6	142.2		2	13	13.9	93.3	49.6	159.6		-1
Se32 不慮の事故	168	205.3	81.8	69.9	95.1	▽	-37	43	65.9	65.2	47.2	87.8	▽	-23
Se34 自殺	532	527.2	100.9	92.5	109.9		5	228	226.8	100.5	87.9	114.4		1

判定区分 ▲:基準(全国)と比べて有意に高い (SMR>100 かつ 95%信頼区間下限>100)

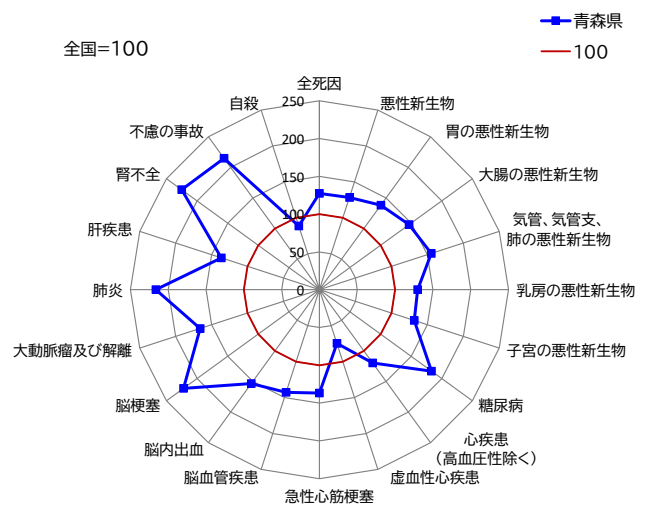
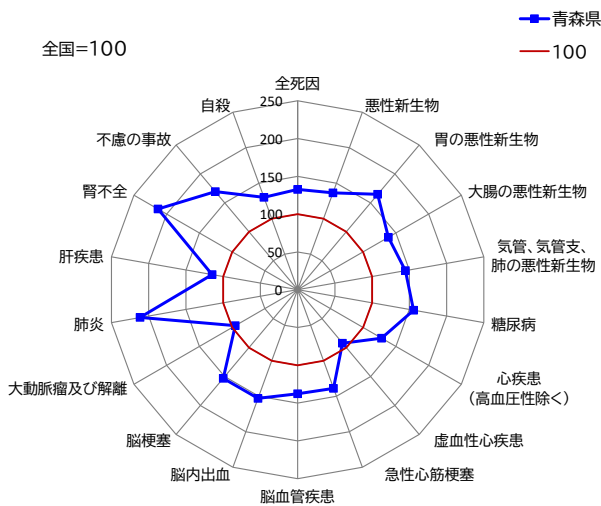
▽:基準(全国)と比べて有意に低い (SMR<100 かつ 95%信頼区間上限<100)

# 青森県 20～64歳の死亡数・死因別標準化死亡比(SMR) (2020～2024年)



死因別標準化死亡比の状況(男性)

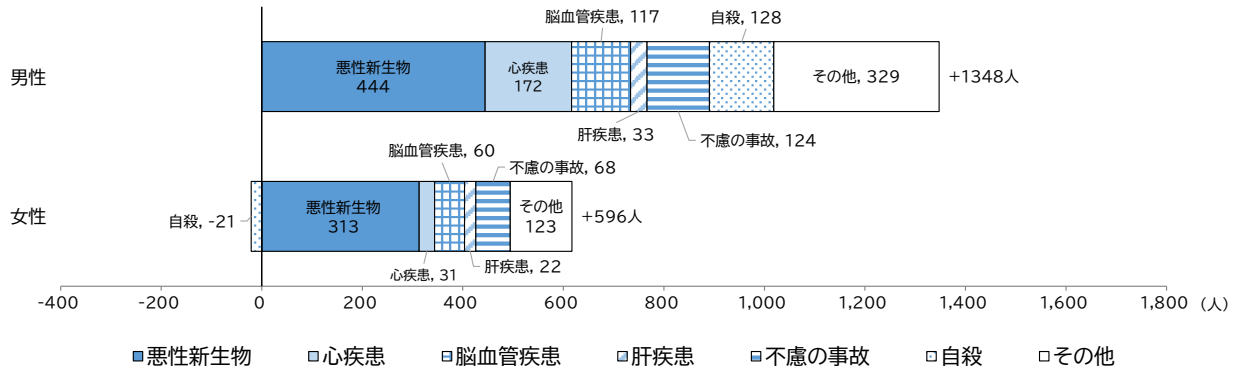
死因別標準化死亡比の状況(女性)



※標準化死亡比が100より大きい場合は基準集団(全国)より死亡率が高く、100より小さい場合は低いことを意味します。  
ただし、統計学的に有意に高い(低い)かどうかは右表の判定区分をご確認ください。

過剰死亡数

男性：死亡総数 SMR=132.7、過剰死亡数 1,348人  
女性：死亡総数 SMR=127.5、過剰死亡数 596人



※ 過剰死亡数：青森県の死亡率が全国の死亡率と同じ(SMR=100)であった場合に比べて、何人過剰に死亡したと考えられるかを示します。SMRが大きく、死亡数が多く、予防可能な死因であれば、特に対策が重要だと考えられます。

$$\text{過剰死亡数} = \text{都道府県の(死因別)死亡数} \times \frac{\text{SMR}-100}{\text{SMR}}$$

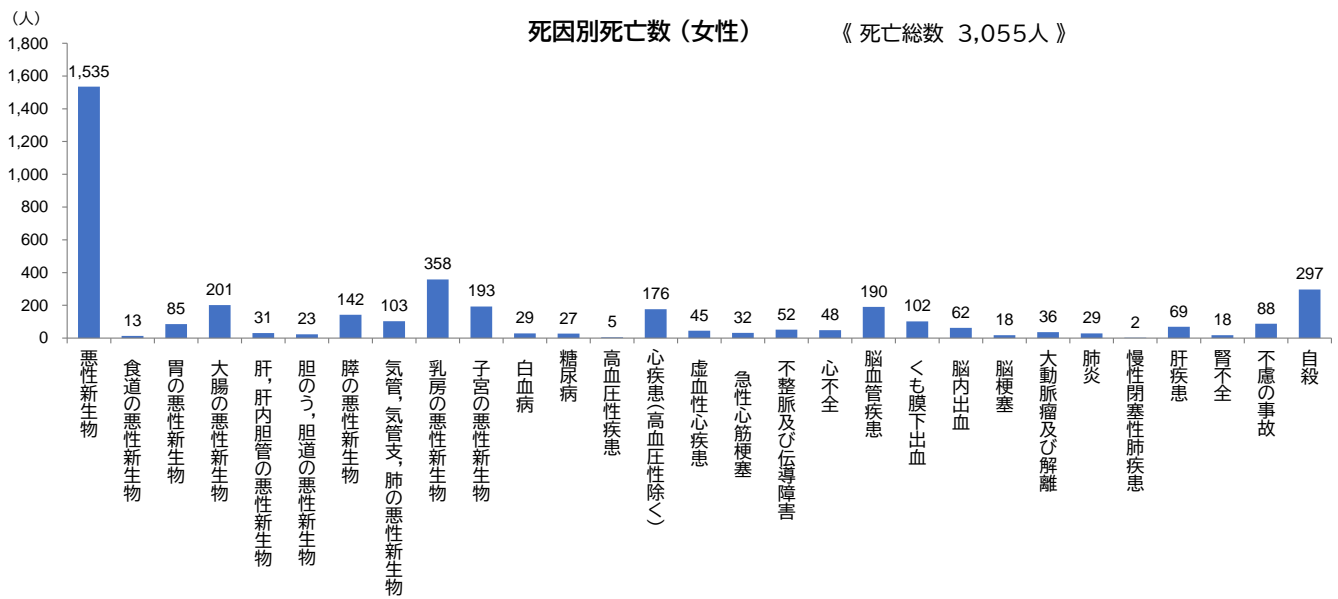
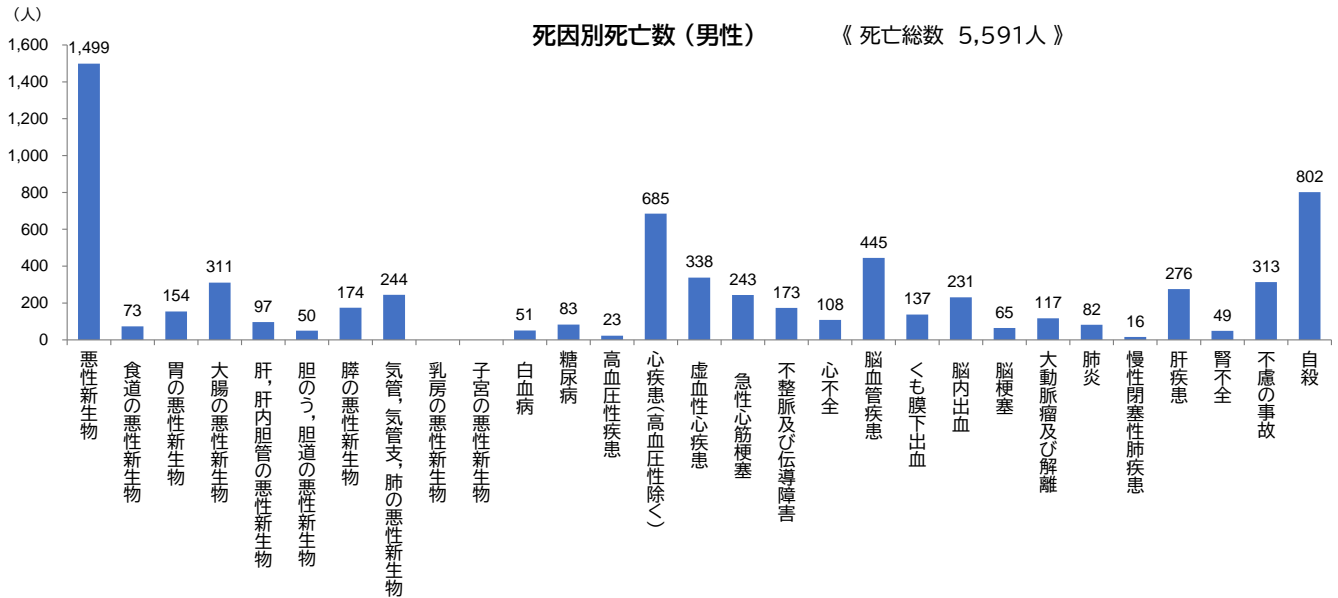
青森県 20～64歳の死亡数・死因別標準化死亡比(SMR) (2020～2024年)

	男性							女性						
	死亡数	期待死亡数	SMR	95%信頼区間		判定区分	過剰死亡数	死亡数	期待死亡数	SMR	95%信頼区間		判定区分	過剰死亡数
				下限	上限						下限	上限		
死亡総数	5,463	4,115.3	132.7	129.3	136.3	▲	1,348	2,761	2,164.9	127.5	122.8	132.4	▲	596
Se02 悪性新生物	1,666	1,221.6	136.4	129.9	143.1	▲	444	1,420	1,106.9	128.3	121.7	135.1	▲	313
Se03 食道の悪性新生物	101	61.9	163.2	132.9	198.3	▲	39	15	18.2	82.3	46.0	135.7		-3
Se04 胃の悪性新生物	209	126.9	164.7	143.1	188.6	▲	82	91	65.9	138.2	111.2	169.6	▲	25
Se05 Se06 大腸の悪性新生物	294	212.0	138.7	123.3	155.5	▲	82	207	141.3	146.5	127.2	167.9	▲	66
Se05 結腸の悪性新生物	158	119.5	132.2	112.4	154.5	▲	38	132	94.9	139.2	116.4	165.0	▲	37
Se06 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	136	92.5	147.0	123.3	173.9	▲	43	75	46.4	161.6	127.1	202.5	▲	29
Se07 肝及び肝内胆管の悪性新生物	133	87.9	151.3	126.6	179.3	▲	45	28	21.8	128.3	85.2	185.5		6
Se08 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	52	31.8	163.7	122.3	214.7	▲	20	29	21.2	136.8	91.6	196.5		8
Se09 膵の悪性新生物	147	148.6	98.9	83.6	116.3		-2	91	95.8	95.0	76.5	116.6		-5
Se10 気管、気管支及び肺の悪性新生物	341	235.6	144.7	129.8	160.9	▲	105	143	91.9	155.5	131.1	183.2	▲	51
Se11 乳房の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	330	254.1	129.9	116.2	144.6	▲	76
Se12 子宮の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	169	128.3	131.7	112.6	153.1	▲	41
Se13 白血病	58	42.8	135.6	102.9	175.3	▲	15	45	25.5	176.4	128.7	236.1	▲	19
Se14 糖尿病	99	63.6	155.7	126.5	189.5	▲	35	32	17.5	183.2	125.3	258.6	▲	15
Se15 高血圧性疾患	21	28.3	74.3	45.9	113.5		-7	6	5.5	109.2	39.9	237.6		1
Se16 心疾患(高血圧性除く)	785	613.0	128.1	119.3	137.3	▲	172	187	156.3	119.7	103.1	138.1	▲	31
Se17 Se18 虚血性心疾患	312	338.2	92.3	82.3	103.1		-26	48	64.3	74.6	55.0	98.9	▽	-16
Se17 急性心筋梗塞	217	156.1	139.0	121.1	158.8	▲	61	38	27.8	136.7	96.7	187.7		10
Se18 その他の虚血性心疾患	95	182.1	52.2	42.2	63.8	▽	-87	10	36.6	27.4	13.1	50.3	▽	-27
Se19 不整脈及び伝導障害	262	109.7	238.8	210.7	269.5	▲	152	69	31.7	217.5	169.2	275.2	▲	37
Se20 心不全	170	103.6	164.1	140.3	190.7	▲	66	52	39.2	132.6	99.0	173.9		13
Se21 脳血管疾患	428	310.8	137.7	125.0	151.4	▲	117	199	139.4	142.8	123.6	164.1	▲	60
Se22 くも膜下出血	81	77.0	105.2	83.6	130.8		4	76	62.2	122.2	96.3	153.0		14
Se23 脳内出血	271	177.2	152.9	135.3	172.3	▲	94	91	59.3	153.4	123.5	188.3	▲	32
Se24 脳梗塞	72	47.1	153.0	119.7	192.7	▲	25	29	13.1	222.2	148.8	319.1	▲	16
Se25 大動脈瘤及び解離	75	78.8	95.2	74.9	119.4		-4	37	22.3	166.0	116.9	228.8	▲	15
Se26 肺炎	142	67.1	211.6	178.3	249.4	▲	75	47	21.7	216.4	159.0	287.8	▲	25
Se27 慢性閉塞性肺疾患	29	14.3	203.3	136.1	292.0	▲	15	2	2.8	70.4	7.9	254.0		-1
Se29 肝疾患	256	223.0	114.8	101.2	129.8	▲	33	84	61.6	136.5	108.8	168.9	▲	22
Se30 腎不全	78	36.6	213.4	168.7	266.3	▲	41	31	13.8	225.1	152.9	319.6	▲	17
Se32 不慮の事故	303	178.9	169.4	150.9	189.6	▲	124	128	59.6	214.9	179.3	255.5	▲	68
Se34 自殺	553	425.2	130.1	119.4	141.4	▲	128	165	185.9	88.7	75.7	103.4		-21

判定区分 ▲:基準(全国)と比べて有意に高い (SMR>100 かつ 95%信頼区間下限>100)

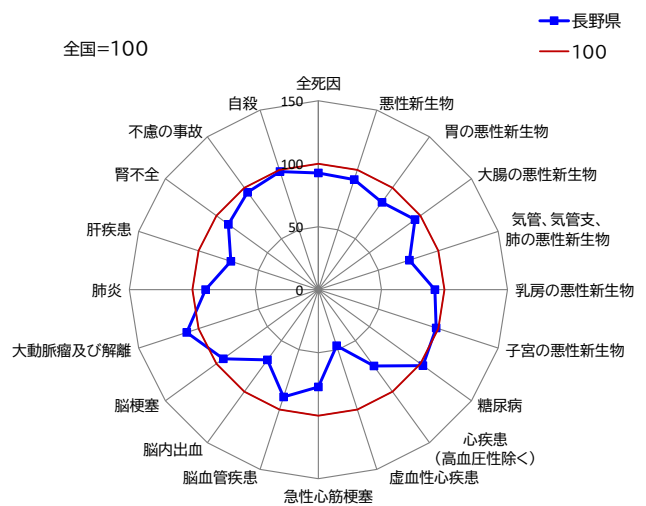
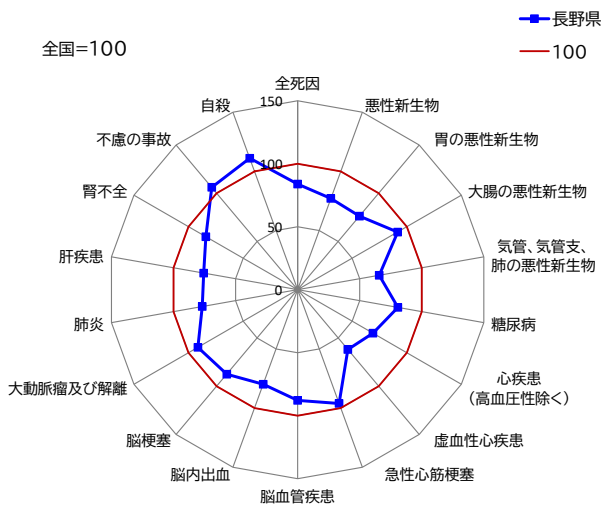
▽:基準(全国)と比べて有意に低い (SMR<100 かつ 95%信頼区間上限<100)

# 長野県 20～64歳の死亡数・死因別標準化死亡比(SMR) (2020～2024年)



死因別標準化死亡比の状況(男性)

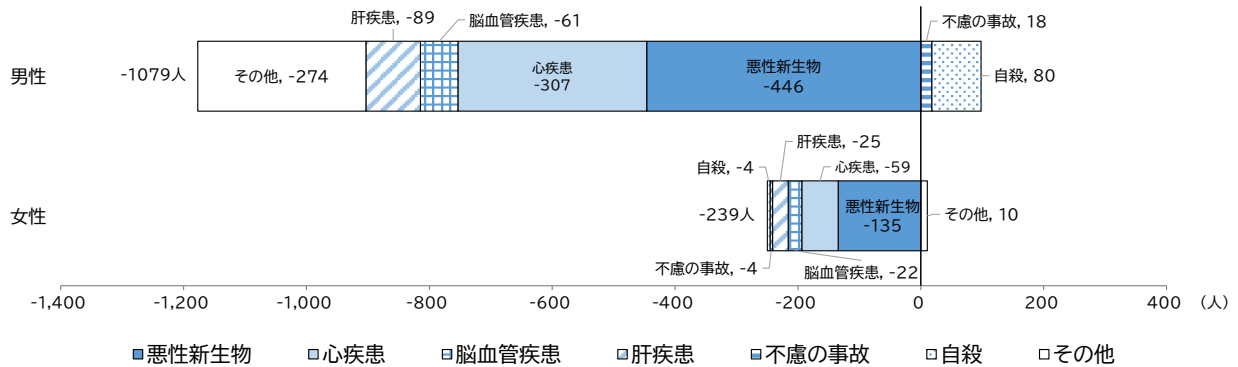
死因別標準化死亡比の状況(女性)



※標準化死亡比が100より大きい場合は基準集団(全国)より死亡率が高く、100より小さい場合は低いことを意味します。  
 ただし、統計学的に有意に高い(低い)かどうかは右表の判定区分をご確認ください。

過剰死亡数

男性：死亡総数 SMR=83.8、過剰死亡数 -1,079人  
女性：死亡総数 SMR=92.7、過剰死亡数 -239人



※ 過剰死亡数：長野県の死亡率が全国の死亡率と同じ(SMR=100)であった場合に比べて、何人過剰に死亡したと考えられるかを示します。SMRが大きく、死亡数が多く、予防可能な死因であれば、特に対策が重要だと考えられます。

$$\text{過剰死亡数} = \text{都道府県の(死因別)死亡数} \times \frac{\text{SMR}-100}{\text{SMR}}$$

長野県 20～64歳の死亡数・死因別標準化死亡比(SMR) (2020～2024年)

	男性							女性						
	死亡数	期待死亡数	SMR	95%信頼区間		判定区分	過剰死亡数	死亡数	期待死亡数	SMR	95%信頼区間		判定区分	過剰死亡数
				下限	上限						下限	上限		
死亡総数	5,591	6,669.8	83.8	81.6	86.0	▽	-1,079	3,055	3,294.2	92.7	89.4	96.0	▽	-239
Se02 悪性新生物	1,499	1,945.3	77.1	73.2	81.1	▽	-446	1,535	1,669.5	91.9	87.4	96.6	▽	-135
Se03 食道の悪性新生物	73	97.5	74.9	58.7	94.2	▽	-25	13	27.1	47.9	25.5	81.9	▽	-14
Se04 胃の悪性新生物	154	201.8	76.3	64.7	89.3	▽	-48	85	99.2	85.7	68.5	106.0		-14
Se05 Se06 大腸の悪性新生物	311	339.5	91.6	81.7	102.4		-28	201	212.2	94.7	82.1	108.7		-11
Se05 結腸の悪性新生物	179	191.3	93.6	80.4	108.4		-12	132	142.5	92.6	77.5	109.8		-10
Se06 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	132	148.2	89.1	74.5	105.7		-16	69	69.7	99.0	77.0	125.3		-1
Se07 肝及び肝内胆管の悪性新生物	97	138.7	69.9	56.7	85.3	▽	-42	31	32.3	96.1	65.3	136.4		-1
Se08 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	50	50.0	100.0	74.2	131.8		0	23	31.1	74.0	46.9	111.0		-8
Se09 膵の悪性新生物	174	236.7	73.5	63.0	85.3	▽	-63	142	140.9	100.8	84.9	118.8		1
Se10 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	244	371.5	65.7	57.7	74.5	▽	-128	103	135.7	75.9	62.0	92.1	▽	-33
Se11 乳房の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	358	387.3	92.4	83.1	102.5		-29
Se12 子宮の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	193	196.6	98.2	84.8	113.1		-4
Se13 白血病	51	69.2	73.7	54.9	96.9	▽	-18	29	38.8	74.7	50.0	107.3		-10
Se14 糖尿病	83	102.7	80.8	64.4	100.2		-20	27	26.3	102.5	67.5	149.1		1
Se15 高血圧性疾患	23	45.4	50.7	32.1	76.1	▽	-22	5	8.1	61.4	19.8	143.3		-3
Se16 心疾患(高血圧性除く)	685	992.1	69.0	63.9	74.4	▽	-307	176	235.2	74.8	64.2	86.7	▽	-59
Se17 Se18 虚血性心疾患	338	546.5	61.9	55.5	68.9	▽	-208	45	96.1	46.8	34.1	62.6	▽	-51
Se17 急性心筋梗塞	243	252.8	96.1	84.4	109.0		-10	32	41.5	77.2	52.8	109.0		-9
Se18 その他の虚血性心疾患	95	293.7	32.3	26.1	39.5	▽	-199	13	54.6	23.8	12.7	40.7	▽	-42
Se19 不整脈及び伝導障害	173	178.5	96.9	83.0	112.5		-6	52	48.4	107.5	80.3	141.0		4
Se20 心不全	108	167.1	64.6	53.0	78.0	▽	-59	48	58.9	81.5	60.1	108.1		-11
Se21 脳血管疾患	445	506.2	87.9	79.9	96.5	▽	-61	190	212.4	89.5	77.2	103.2		-22
Se22 くも膜下出血	137	127.6	107.4	90.2	127.0		9	102	95.8	106.5	86.8	129.3		6
Se23 脳内出血	231	289.0	79.9	69.9	90.9	▽	-58	62	89.9	68.9	52.8	88.3	▽	-28
Se24 脳梗塞	65	74.3	87.5	67.5	111.5		-9	18	19.3	93.2	55.2	147.3		-1
Se25 大動脈瘤及び解離	117	128.0	91.4	75.6	109.5		-11	36	32.8	109.9	77.0	152.2		3
Se26 肺炎	82	106.7	76.8	61.1	95.3	▽	-25	29	32.4	89.5	59.9	128.5		-3
Se27 慢性閉塞性肺疾患	16	22.2	72.1	41.2	117.1		-6	2	4.2	47.8	5.4	172.6		-2
Se29 肝疾患	276	364.5	75.7	67.0	85.2	▽	-89	69	94.4	73.1	56.9	92.5	▽	-25
Se30 腎不全	49	58.3	84.1	62.2	111.2		-9	18	20.4	88.3	52.3	139.6		-2
Se32 不慮の事故	313	294.9	106.1	94.7	118.5		18	88	92.1	95.6	76.7	117.8		-4
Se34 自殺	802	721.9	111.1	103.5	119.1	▲	80	297	301.2	98.6	87.7	110.5		-4

判定区分 ▲:基準(全国)と比べて有意に高い (SMR>100 かつ 95%信頼区間下限>100)

▽:基準(全国)と比べて有意に低い (SMR<100 かつ 95%信頼区間上限<100)